

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科 1 年	単 位	21 単位
科目コード	00211	科目名	服装造形	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：早瀬 千加子	共同担当者：小川 紘子
-----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッション業界をグローバルな視点からみつめる 4 年間のコース。アパレル各分野の発展を担うリーダーとなる人材の育成を目的としている。

1 年次では、アパレル全般を理解するため総合的に学び、レディースを中心とした服飾全般の基礎知識と技術を習得する為に、縫製技術の基礎から綿素材のスカート、ブラウス、パンツ、裏付きのウール素材のスカート、ジャケット、ワンピースを製作する。

授業概要

服装造形 論	IA・B	前期	2単位	後期	2単位
服装造形 デザイン	IA・B	前期	2単位	後期	2単位
服装造形 パターンメイキング	IA・B	前期	1単位	後期	1単位
服装造形 ソーイング	IA・B	前期	3単位	後期	5単位
服装造形 ドレーピング基礎				後期	1単位

1、基礎Ⅰ・基礎Ⅱ	18コマ（前期）	一般知識・縫合の基礎（部分縫い）・作図の基礎
2、体型研究	15コマ（前期）	トワール制作・試着補正・レポート
3、スカートⅠ	22コマ（前期）	デザイン・パターン・実物制作・レポート
4、ブラウス	35コマ（前期）	デザイン・パターン・実物制作・レポート
5、バザー作品	15コマ（前期・後期）	文化祭バザー作品・グループ製作
6、スカートⅡ	27コマ（後期）	デザイン・パターン・実物制作・レポート
7、ジャケット	60コマ（後期）	デザイン・パターン・実物制作・レポート
8、ワンピースドレス	50コマ（後期）	デザイン・パターン・実物制作・レポート
9、パンツ	11コマ（後期）	デザイン・パターン・実物制作・レポート
10、ドレーピング基礎	12コマ（後期）	準備（目標線の入れ方など）・身頃（文化ボディ使用）

評価方法・対象・比重

・服装造形 論・・・筆記試験、レポート	・パターンメイキング・・・提出物
・デザイン、ソーイング・・・製作物	・ドレーピング・・・提出物

主要教材図書	服飾造形講座	服飾造形の基礎（スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、メンズウェアⅠ、アパレル生産講座、立体裁断、基礎）	装苑	科作成のプリント
参考図書	服飾造形講座	服飾造形の基礎（スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、メンズウェアⅠ、アパレル生産講座、立体裁断、基礎）	装苑	科作成のプリント
その他資料				

記載者氏名 早瀬 千加子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科1年	単 位	1単位
科目コード	07960	科目名	量産技術概論・実習	授業期間	通年（集中）

担当教員（代表）：加藤 紀人	共同担当者：上野 和博、渡井 邦重、宮澤 国博 北村 都美子、佐藤 明彦
----------------	---

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル製品の生産について、関心を持たせることを目標とする。

前期初頭、量産の手法に基づいたシャツの縫製実習を短期集中で行い、工業用ミシン、アイロンを主とした生産機器の安全な使用方法の基礎を習得する。後期講義において、実習での作業内容と通常授業における一品作りとの違いについて認識させる。

＜実習制作物 … 綿素材 ダンガリーシャツ＞	
1. 縫製準備 … (1)	延反・裁断・芯貼り・仕分けの、準備工程作業体験
2. 基礎練習 … (2)	実習で使用する基本的な生産機器について説明を受け、操作の練習・部分縫いの実習
3. シャツ縫製実習 … (7)	シャツの生産指示書と示範説明に基づき、丸縫いでのシャツの生産実習 機器の使用に慣れ、縫製作業のプロセスを体験
4. アパレル産業の生産プロセス（講義） … (2)	アパレルにおける仕事の流れについて講義
5. 特殊機器見学 … (1)	生産に使用される特殊機器についての知識習得

評価方法・対象・比重 出席、提出物によるP評価

主要教材図書 「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」
参考図書 なし
その他資料 「シャツ生産指示書」

記載者氏名 加藤 紀人

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門科 1年	単 位	2単位
科目コード 97511	科目名 自由研究 I a I b	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：早瀬 千加子	共同担当者：小川 紘子
-----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

前期・後期の学習内容をふまえて応用、発展させる。自由にテーマを決めて作品を制作し、プレゼンテーションをする。

自由研究 1 A 前期アイテムのブラウスの応用としてテーマ、コンセプトを決めシャツブラウスを制作し、プレゼンテーションをする。…実物制作、レポート

自由研究 1 B 1年間の総まとめとして各自自由にテーマを決めて作品を制作し、プレゼンテーションをする。
…実物制作、レポート

評価方法・対象・比重

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	60100	科目名	ファッションビジネス概論	授業期間	前期 ()

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

I. ファッションとビジネス (2 コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係
2. ファッションの範囲と流行の把握

II. ファッションビジネスの特性 (4 コマ)

1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類
2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷
現代のキーワード
3. 現代のファッションキーワード

III. ファッション産業の構造 (3 コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

IV. ファッションビジネスの実務 (3 コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

V. まとめ (2 コマ)

1. ファッション産業今後の課題
2. 最新ファッションキーワード

※すべて講義

評価方法・対象・比重
試験と出席日数 (7:3)

主要教材図書 化ファッション大系 アパレル生産講座「ファッションビジネス 基礎編」

参考図書	日経、織研新聞、繊維白書など
その他資料	教材専用プリント類
記載者氏名	澤住 倫子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	51110	科目名	ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：玉川あかね	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

人体と衣服との関係を把握し、服のデザイン・構造を明確に描き表現するための基本的なドローイングを繰り返し練習。授業後期から水彩絵の具によるテクニク(素材表現)を習得し、各自のデザインワークにつなげる。

I・人体のプロポーション／8頭身（正面・側面）の描き方	< 2 コマ >
II・ポーズ／身体の動き、流れを理解する（支脚・遊脚の関係） *各種ポーズの描き方、手・足・顔の描き方	< 2 コマ >
III・ポーズと着装／服の基本フォルムを把握しデザイン・構造を描きいれる *ベーシックドレス、シャツ、スカート、パンツ、スーツなど *ファッションクロッキー	< 3 コマ >
IV・製品図／各アイテムのバランスの取り方・・フロントスタイル、バックスタイル	< 2 コマ >
V・アウトライン／仕上げ線の描き方 （グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆）	< 2 コマ >
VI・混色表の作成／水彩絵の具の特徴を知る。三原色の混色など	< 1 コマ >
VII・彩色練習／基本的な水彩技法の習得。筆の使い方など	< 2 コマ >
VIII・素材表現／水彩技法のいろいろ *薄地素材、厚地素材 *プリント柄、織柄など	< 5 コマ >
IX・デザイン発想画／創作デザインと表現力の強化。 *校内ファッション画展にむけての作品制作	< 5 コマ >
X・早描き練習、アイデアスケッチ／短時間に描き上げるコツをつかむ。	< 2 コマ >

評価方法・対象・比重 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする。
--

主要教材図書	文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
参考図書	
その他資料	

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション年度専門士科1年	単 位	2単位
科目コード 41000	科目名 西洋服装史	授業期間	通年（ ）

担当教員(代表)：朝日 真	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

古代から近世 18 世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾の特長を解説していく。19 世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を見ていく。20 世紀以降はデザイナーの時代であり、デザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からのアプローチによって理解を深める。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	1950年代のファッション（1）
2	博物館見学	17	1950年代のファッション（2）
3	古代の服飾	18	1960年代のファッション（1）
4	中世の服飾	19	1960年代のファッション（2）
5	ルネサンスの服飾	20	1960年代のファッション（3）
6	バロックの服飾	21	1970年代のファッション（1）
7	ロココの服飾	22	1970年代のファッション（2）
8	第一帝政、王政復古時代の服飾	23	1980年代のファッション（1）
9	第二帝政時代の服飾	24	1980年代のファッション（2）
10	第三共和制時代の服飾	25	1990年代のファッション（1）
11	アールヌーヴォー様式期の服飾	26	1990年代のファッション（2）
12	1910年代のファッション	27	
13	1920年代のファッション	28	
14	1930年代のファッション	29	
15	1940年代のファッション	30	

評価方法・対象・比重
学期末に定期試験を実施、出欠重視

主要教材図書 文化ファッション大系「西洋服装史」
参考図書
その他資料

記載者氏名 朝日 真

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科1年	単 位	2
科目コード	40310	科目名	服飾デザイン論 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：三枝 みさお	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

教育目標： 服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

レベル設定：色彩の基礎知識や配色の基礎、形態の構成要素やシルエットのとらえ方、コンポジションのセオリーについて理解し、それぞれのテーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. オリエンテーション…1コマ

- 科目概説

2. 服飾デザインの基礎――色彩…12コマ

- カラーチャート作成 ●色彩の性質と分類方法
- 色彩の識別【課題作成：色相環マップ】
- 色彩体系 ●色彩の科学
- 色彩の感情効果【課題作成：三属性と感情効果】
- カラーコーディネーション【課題作成：カラーコーディネーション】
- ・色相を基準にしたカラーコーディネーション ・トーンを基準にしたカラーコーディネーション
- 色彩の見え

3. 服飾デザインの基礎――形態…5コマ

- 形態の構成要素
- ・点、線、面
- シルエット【課題作成：直線/曲線、シルエット】
- ・直線的、曲線的 ・フィット、ルーズ
- 形態の見え方
- ・線や面における錯覚

4. 服飾デザインの基礎――コンポジション…5コマ【課題作成：コンポジション】

- ドミナント/セントラリティ、アクセント
- シンメトリー/アシンメトリー
- リズム ・レギュラー、イレギュラー、グラデーション ・レピテーション

5. 服飾デザインの基礎――デザイン2コマ

- デザインの定義、デザインジャンル ●服飾デザインの役割

6. まとめ、応用…1コマ

- 一年間の復習 ●パーソナルカラーについて

※授業方法：講義、演習（プリント演習、課題作成）

評価方法・対象・比重

期末試験（ペーパー）、演習作品による評価、出席状況、授業態度を考慮に入れる

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連講座⑨ 『服飾デザイン』 文化出版局

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140・B5判、ベーシックカラー140・B8判 （日本色研事業株式会社）
カラーチャート140

記載者書名欄 三枝みさお

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科 1 年	単 位	2
科目コード	20210	科目名	アパレル素材論 I	授業期間	通年 (26 コマ)

担当教員(代表) : 山田とし子	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレルの主素材である布地の種類と性能の基本を理解させ、応用力を養わせることを教育目標とする。

布地を理解し利用するには、その構成要因となる繊維、糸、織、編、レース、染色、加工などの各々の種類、性質などを複合的に捉える必要があるため、授業は繊維から系統的に展開し、講義に加え、演習・実験・実習を含め理解を促し、実践的なものとする。レベルは、高度専門士として素材を深く理解する上での礎になるよう設定している。

1. 序論 (1 コマ) <講義>

- ・アパレルの意味、アパレルと素材の関係
- ・布の成り立ち、繊維—糸—布のかかわりと特徴

2. 繊維 (8 コマ) <講義、実習、実験>

- ・繊維とは
- ・繊維の種類と分類、成分と構造、性質
- ・繊維と繊維長

* 実習 ・アパレル素材の認識 (服装調査) ・繊維の鑑別 (顕微鏡法、呈色法)

3. 糸 (4 コマ) <講義、実習>

- ・繊維から糸製造
- ・糸の種類と構造、性質
- ・糸の太さと表示

* 実習 ・糸の構造と太さ (スパンヤーンとフィラメントヤーン、糸番手) ・毛紡績の分類 (梳毛と紡毛)

4. 布地 (11 コマ) <講義、実習>

- ・織物、編地、レースなどの種類と性質
- ・繊維別布地解説
- ・先染め、後染めの種類と効果
- ・風合い表現

* 実習 ・織、編地の組織分解 (三原ほか組織) ・先染と後染の区別と色柄効果
・目付、打ち込みの理解 ・ボードウィービング

5. 加工 (1 コマ) <講義、演習>

- ・加工の目的と種類

* 演習 ・加工布の種類、分類

6. プレゼンテーション (1) <発表、講評>

- ・ボードウィービングの発表

--

評価方法・対象・比重 前期末・後期末のペーパー試験及び提出物と授業状況を加味したものを評価とする。
--

主要教材図書　：文化ファッション体系服飾関連講座①　「アパレル素材論」文化服装学院編　文化出版局
--

参考図書　：「ワークブック、アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部　　その他資料：「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

その他資料

記載者氏名　山田とし子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	高度専門士科1年	単 位	単位 1
科目コード	35010	科目名	服飾手芸 I	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）：久保田桂子	共同担当者：毎熊舞
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。
また、素材・テクニック・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする

1. 手芸一般知識(0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作(1.5)

レースのテクニックの中で結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、
応用発展できるようにする

3. 加飾美表現 エンブroidアリー 基礎刺し1点・応用刺繍バック制作1点(8)

様々な刺繍テクニックを用いてデザイン発想から色、素材の扱い方などを習得しオリジナルの装飾表現方法を
理解させる

4. レリーフ・ライク表現 ラティススモッキング 基礎刺し製作1点(1)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニックを習得させる

5. 装飾造形表現 コサージュ 作品製作1点(2)

洋服の残り布や様々な素材を使用してコサージュを作り、服のデザインポイントになる装飾効果と
テクニックを習得させる

評価方法・対象・比重

実物作品 出欠席

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 プリント コレクション写真 各種標本

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード 40410	科目名 服装解剖学 I	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：高見澤ふみ	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体（骨格）に関する基礎知識を学習させる。次に人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション（講義内容の説明）	16	
2	人体の構成と衣服（人体の骨格・全身骨格）	17	
3	人体の構成と衣服（頭部）	18	
4	人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン）	19	
5	人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン・胸郭）	20	
6	人体の構成と衣服（乳房と前身頃）	21	
7	人体の構成と衣服（乳房と前身頃）	22	
8	人体の構成と衣服（上肢帯）	23	
9	人体の構成と衣服（上肢帯と自由上肢骨）	24	
10	人体の構成と衣服（上肢帯と下肢帯の違い）	25	
11	人体の構成と衣服（下肢骨の運動とスカートの関係）	26	
12	人体の外観と衣服（人体の計測について）	27	
13	人体の外観と衣服（人体のプロポーション）	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

ノート提出・出欠状況…50%、確認テスト…25%、骨と原型についてのプリント…25%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 高見澤ふみ

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科 1年	単 位	1
科目コード	50100	科目名	クロッキー	授業期間	前期

担当教員(代表)：酒井 英実	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

様々なものの見方を通じ、ものを見て描く事・表現につながるような描写とその楽しさを再認識する事とあわせ、基本的描写能力・表現能力の習得を目的とする。他の学科の内容とのつながりも考慮する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

●各回の内容

1. オリエンテーション 形のとらえ方の基本技術
2. 速写をする コレクションDVD加ッキー、視点を変える方法
3. 人体と服
4. 部分の理解1 靴
5. 部分の理解2 顔
6. 色彩の使い方(水彩基礎)混色のコツ、色づくり
7. 無色彩技法 水墨技法・単色表現の可能性
8. パステル技法 黒い紙にチョークで描写
9. 水彩 特殊技法 様々な技法を身近にあるものの利用により体験
10. 技法 カットを描く 様々な技法の理解、利用
11. 技法 計測法基礎 トルソ
12. 細密描写 昆虫、貝殻の描写、細密の意味
13. ヌードクロッキー 動きを主にとらえるヌードクロッキー
14. まとめ 全体のまとめ

随時 クロッキー 学生同士クロッキー

評価方法・対象・比重

授業時の作品および出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科1年	単 位	2単位
科目コード	56510	科目名	コンピュータグラフィック I	授業期間	通年（ ）

担当教員(代表)：加藤正人	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。デジタルファッション画、コラージュの製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。

授業概要

(1) パーソナルコンピュータの基本操作(0.5コマ)

- ・ハードウェアの操作/コンピューター本体、マウス、キーボード、モニター等
- ・OSの操作、ファイルの管理、文字入力

(2) Adobe Photoshopの基本操作(1.5コマ)

- ・Photoshop、ペイントソフトの基礎知識
- ・各種ツール、パネル、メニューの操作
- ・描画、加工、編集の基礎技法

(3) コラージュの製作(6コマ)

- ・コラージュの手法とプロセスの解説
- ・画像の合成、加工、編集
- ・レイアウト、まとめ

(4) Adobe Illustratorの基本操作(8コマ)

- ・Illustrator、ドローソフトの基礎知識
- ・各種ツール、パネル、メニューの操作
- ・描画、加工、編集の基礎技法

(5) デジタルファッション画の製作 下絵取り込み～修正～着色～完成(4コマ)

- ・Photoshopによるファッションデザイン画の製作
- ・下絵のスキャニング
- ・下絵の修正
- ・着色、陰影、立体感の表現
- ・レイアウト、まとめ

(6) デジタルファッション画のバリエーション製作(1コマ)

- ・カラー、素材等のバリエーション製作
- ・レイアウト、まとめ

(7) 衣服製品図の制作 (9コマ)

- ・ 衣服製品図の役割
- ・ 衣服製品図の描き方
- ・ 各アイテムごとの製品図の製作
 - Ｔシャツ、ジャケット、ブルゾン、他
- ・ ディティール表現
- ・ カラーバリエーション
- ・ デザインバリエーション

使用ソフト

- ・ Mac OS
- ・ Adobe Photoshop
- ・ Adobe Illustrator

評価方法

- ・ 提出課題
- ・ 出席率

主要教材図書

- ・ なし

参考図書

- ・ なし

その他資料

- ・ 課題別各種プリント、作例

評価方法・対象・比重

提出課題 出席率

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 課題各種プリント、作例

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 高度専門士科 1年	単 位	1
科目コード 90110	科目名 ファッション英会話 I	授業期間	後期

担当教員(代表)：薩田 須美子	共同担当者：
-----------------	--------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。ペア・ワーク、グループ・ワークを通し日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。

1	オリエンテーション／自己紹介
2	クラスルーム・イングリッシュ/時刻
3	頻度を表す副詞・日常生活を表現する。
4	現在進行形/未来形
5	好きなこと／嫌いなことを表現する
6	場所を表す前置詞
7	道案内

8	過去形の確認
9	ファッションアイテム
10	色/柄
11	ファッション/色、がらの英語表現
12	クリスマス
13	まとめ

評価方法・対象・比重

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等

“English for Fashion Students” 文化服装学院

担当教員の準備する配布物

記載者署名欄 薩田 須美子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12051	科 名	ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	90710	科目名	フランス語 I	授業期間	(後期)

担当教員(代表) 遠藤かおり	共同担当者 :
----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

フランス語を身近な言語として 捉え、半年間で自己紹介や簡単なトラベル会話を正しい発音でできるようになることを目標とする。また、映画鑑賞を通してフランス文化などにも触れていく。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	フランス語ってどんな言語？	16	
2	私の名前は～です。名前や綴り	17	
3	私は～です。職業や国を言う。	18	
4	私は～才です。年齢と数。	19	
5	あなたの名前は何ですか？相手に名前や年齢、国籍を尋ねる。	20	
6	私は～が好きです。冠詞につて	21	
7	私は～に住んでいます。前置詞	22	
8	あなたは～が好きですか？ 疑問形	23	
9	私は～ではありません。否定形。	24	
10	トラベル会話。100までの数	25	
11	トラベル会話。道の尋ね方。	26	
12	前期のまとめ	27	
13	小テスト	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

小テスト50% 授業態度と出席50%

主要教材図書 EN SCENE (SANSHUSHA)

参考図書 パスポート初級仏和辞典(白水社)

その他資料

記載者氏名 遠藤かおり

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門士科 1 年	単 位	1
科目コード 96000	科目名 校外研修 I	授業期間	前期

担当教員(代表)：早瀬 千加子	共同担当者：小川 紘子
-----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

都会生活から離れた「山」における野外活動、体育活動ほか諸活動など団体生活の体験を通じ、指導力、協調の精神を養い、個人相互、クラス間の親睦を深める。

オリエンテーション、クラスミーティング、コミュニケーション活動、グループコミュニケーション、野外炊飯、スコアオリエンテーリング、体育活動、キャンプファイヤーを通して人間力の向上を目指す。

北竜湖資料館、世界の民俗人形博物館、須坂版画美術館・平塚運一版画美術館、善光寺の見学。

評価方法・対象・比重
出欠席による評価

主要教材図書 小冊子
参考図書
その他資料

記載者氏名 早瀬 千加子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 ファッション高度専門士科1年	単 位	1
科目コード 98156	科目名 特別講義・キャリア開発Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬 千加子	共同担当者：小川 紘子
-----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

レギュラーカリキュラムに含まれない関連分野の知識習得及び、人材育成のための講義などで構成する。

テキスタイル情報、コレクション情報、キャリア教育、ファッションビジネス、舞台衣装、着物の知識、パターンメーカーの仕事、ビジネスマナー、デザイナーについてなどの各スペシャリストを講師に招いての特別講義を行う。

・テキスタイル情報	川上 淑子 氏
・コレクションについて	青木 規子 氏
・キャリア教育	東條 文千代 氏 ・ 二丈 武生 氏
・クリエイターとしての商品開発について	宮前 義之 氏
・きもの	未定
・舞台見学オリエンテーション	窪寺 祐司 氏
・デザイナーの実務	未定

評価方法・対象・比重
出欠席による評価

主要教材図書	就職対策&ビジネスマナー、参考図書、プリント
参考図書	
その他資料	

記載者氏名 早瀬 千加子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12051	科 名 高度専門士科 1年	単 位	1
科目コード 96811	科目名 コラボレーションa (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬 千加子	共同担当者：松本 一代
-----------------	-------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。人と人との様々なつながりと調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>●コラボレーション企画依頼があった際に、教育効果があるものに対し参加する。(13コマ)</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出欠、作品・商品製作及びレポート提出</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 早瀬 千加子

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科2年	単位	16
科目コード 01511	科目名 アパレル造形論 I A	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：安井 涼子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ・ 1年次に習得した基礎知識、技術をもとにアパレル造形として発展させ、トレンドを意識した商品としての価値観を加味しデザイン発想する。また、デザイン別・素材別のパターンと縫製技術を習得する。
- ・ 個に対する服作りから不特定多数の量産への意識付けと理論の展開を図り、縫製仕様・縫製方法を理解する。
- ・ ドレーピングの習得を通しバランス感覚を養い、立体感とデザイン発想を各自の作品に反映させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

アパレル造形論	前期2単位 後期2単位
アパレル造形演習 デザイン	前期2単位 後期2単位
アパレル造形演習 実技	前期2単位 後期2単位
アパレル造形演習 ドレーピング	前期2単位 後期2単位

- | | |
|-------------------|--|
| 1、一重ジャケット (前期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 2、バザー作品 (前期) | 文化祭バザー作品 グループ製作 |
| 3、総裏ジャケット (前期・後期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 4、皮革作品 (後期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 5、修了制作 (後期) | デザイン・パターン・実物製作・レポート |
| 6、ドレーピング (前期・後期) | 胸ぐせダーツの応用・スカート・ブラウス・ジャケット
(使用ボディ…文化ボディ) |

評価方法・対象・比重

- ・ アパレル造形論…理論試験、レポート
- ・ アパレル造形演習デザイン…課題提出作品、コーディネート着装
- ・ アパレル造形演習実技…課題提出作品
- ・ アパレル造形演習ドレーピング…実技試験、課題提出作品

主要教材図書・・・文化出版局
ファッション大系…②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース ④ジャケット・ベスト ⑤コート・ケープ
服飾造形講座 服飾造形応用編Ⅰ、Ⅱ(特殊素材 高級素材)
立体裁断(基礎編) 工業パターンメイキング

参考図書 ファッション情報誌 織研新聞 WWD

その他資料 参考作品 プリント 段階標本

記載者書名欄 安井 涼子

2015年度 カリキュラム科目概要

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科2年	単 位	1
科目コード	42200	科目名	生産管理概論	授業期間	前期

担当教員(代表)： 渡井 邦重	共同担当者：
-----------------	--------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

アパレル産業の生産プロセスを、メーカー側の企画・設計業務と縫製工場側の製造業務双方から捉え、生産管理の基礎知識を習得することを目的とする。授業内容は縫製仕様書、加工指図書を通して生産情報の伝達・管理手法から、縫製工程分析表による生産計画及び生産ライン設計の仕組みと考え方、製造品質の定義と標準化への取り組み、製造原価と価格の関係について講義と各種演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス (1コマ)

生産管理の目的 管理とデミングサークル

II. アパレル産業の生産プロセス (1コマ)

①. メーカーと工場の役割

III. 設計部門の業務と管理 (2コマ)

①. 縫製仕様書とは

②. 縫製仕様書作成

IV. 生産部門の業務と管理 (2コマ)

①. 加工指図書とは

②. 加工指図書作成

V. 製造部門の業務と管理 (3コマ)

①. 工程分析の目的

②. 工程分析表作成 (シャツブラウス)

③. 工程分析表作成 (一重ジャケット)

VI. 製造品質と標準化 (2コマ)

①. アパレル製品の品質とは

②. 標準化への取り組み

VII. 製造原価 (1コマ)

①. 価格と原価の関係、原価計算演習

VIII. 生産管理の役割と、今後のアパレル生産 (1コマ)

①. SCMに伴うインフラ整備

②. 世界規模での生産活動

評価方法・対象・比重

試験・提出物・授業態度・出欠席により総合的に評価

主要教材図書

文化ファッション大系 アパレル生産講座⑦アパレル生産管理

参考図書

その他資料 適宜プリント配布

記載者書名欄 渡井 邦重

科コード 12052	科 名 ファッション高度専門士科 2 年	単 位	1
科目コード 08010	科目名 量産技術実習 I	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：上野 和博	共同担当者：佐藤 明彦
----------------	-------------

教育目標・レベル設定など

シャツの製造実習を通して、狙いの品質レベルを守るための情報（生産用パターン、帳票類、作業標準書など）の役割を知り、納期（D）・コスト（C）を意識させながら、動作経済の理解などを深めることを目標とする。この実習は分業体制でなく一人が全行程を賄う”丸縫い作業”で、生産プロセスにおける先上げサンプル作成の位置付けとなる。出来栄え品質にバラツキが生じないように、量産にも通じる仕組みの重要性を認識させる。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス・・・実習の目的と内容説明（日程計画、帳票類、生産用パターン）（1 コマ）

II. 縫製準備・・・縫製前の裁断実習（1 コマ）

- ①延反
- ②自動裁断機（CAM）裁断
- ③芯貼り
- ④識別シール貼り
- ⑤個人仕分け

III. 基礎練習・・・縫製機器（ミシン・アイロン）の基本操作（3 コマ）

- ①本縫いミシン
- ②縁かがり縫いミシン
- ③生蒸アイロン
- ④バキュームボード

部分縫い

- ①短冊あき
- ②直線・曲線縫い

IV. シャツ縫製・・・シャツ縫製実習（8 コマ）

- ①部品工程
- ②組み立て工程
- ③特殊ミシン

評価方法・対象・比重

出席状況、提出物の出来栄え

主要教材図書

ファッション大系「工業用ミシンとアイロンの基本操作と知識」

参考図書

その他資料

「シャツ生産指示書」

記載者書名欄 上野 和博

12052	科名 ファッション高度専門士科2年	単 位	2
97521・97522	科目名 自由研究 II a、II b	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：安井 涼子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ・ 子供服の一般知識と原型を理解し，習得する。
- ・ 一重ジャケットとのコーディネートを考えボトムスを製作する。
- ・ 修了制作ショー

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、子供服 一般知識・原型作図
- 2、自由作品 実物製作
- 3、修了制作ショー構成参加
- 4、コンテスト活動

評価方法・対象・比重

提出作品，研究発表，出欠状況による評価

主要教材図書・・・文化出版局
文化ファッション大系…服飾造形講座⑧子供服

参考図書

その他資料 実物参考作品

記載者書名欄 安井 涼子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科2年	単 位	1単位
科目コード	43110	科目名	CAD パターンメイキング I	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

概要

基本的なアパレル CAD オペレーションをマスターすることを目標とする。

囲み作図を CAD で作成し、基本的な線の引き方を身につける。個人の作図をスキャナで入力し、入力したデータを基に CAD で基本的なパターン修正、縫い代け、パーツ情報の作成方法を身につける。

使用CAD：東レACS株式会社製クレアコンポシリーズ（パターンマジック、マーカーマジック）

I. オリエンテーション（1コマ）

- ① アパレルCADを使用したデータ経路の説明
- ② パターンマジックの基本操作

II. 囲み作図 1. タイツスカート（2コマ）

- ① 指定寸法の線作成
- ② 線の調節、修正を理解する

III. 囲み作図 2. パンツ（2コマ）

- ① タイツスカートの内容を応用し作図をする

IV. スカートの展開（1コマ）

- ① パターン展開の操作を身につける

V. パターン入力（4コマ）

- ① パターン入力方法
- ② 各自のパターンを入力する
- ③ 入力パターンの修正、調整方法を身につける

VI. プリントアウト（1コマ）

- ① 最終パターンを作成しレポート用にプリントアウトする

VII. パーツ化、縫い代付け（1コマ）

- ① パーツ化、パーツ情報の設定
- ② 縫い代付け（各自完成させたスカートパターン使用）
- ③ メニューの説明、角処理と縫い代幅

VIII. マーキング（1コマ）

- ① マーキングの手順とオペレーションを身につける

IX. まとめ（1コマ）

- ① 小テスト

評価方法・対象・比重

評価方法：授業内試験、提出物（各自のジャケットパターンを取り込み、作成した工業用パターンデータ）

評価比重：試験7割、提出物3割

主要教材図書

・私製テキスト配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮澤 国博

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科2年	単 位	2
科目コード	13810	科目名	ニットアパレル造形 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：小林 桂子	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ニットの基礎的な概論及び商品知識を理解させ、基礎技術を習得させる。 その応用で布帛の知識を生かした、ニットでのコーディネート作品を製作する。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>編物概論・・・ニットの一般知識(織りと編みの違い、ニットの三原組織、JIS記号、編成原理、編目の出来る順序、編み糸の種類、編地各種、器具、用具)</p> <p>ニット原型・・・ニット原型と布帛との違い。婦人用プルオーバー作図 ゲージについて、成形のための計算、プルオーバーまとめについて 三角計算、縦長三角、横長三角</p> <p>ニット素材・・・編み糸の種類(糸の太さと番手について、素材別天然繊維、化学繊維を区分けさせ各自糸はりをする)</p> <p>編 地・・・ゲージ別、組織別(横、経編)編み地各種、各自編地はりをする</p> <p>ニットのアイテム・・・セーター、ジャケット、シャツ、ブラウス、ネックライン、スリーブ、ポケット</p> <p>基礎編み・・・棒針編み(三原組織、リブの変化、レース、タック、ケーブル、etc) 棒針編み増減編み 鉤針編み(細編み、中長、長編、長々編、方眼編み、松編み、基礎形態(丸、四角)) ヘアピンレース</p> <p>小物について・・・(帽子、マフラー、ストール、ショール)各寸法 etc</p> <p>実物製作小物・・・帽子、マフラー、バック、ベスト、セーター(ウール100%、4/8、4/9) 用具2本棒針(8号)リブ(5～6号) 編成組織 本体部分 身頃 袖 天竺(平編み) 裾、袖口 および衿部分1×1リブ 商品モデル ラウンドセーター 設計上の編目計算</p>
--

評価方法・対象・比重
提出課題 出席状況

主要教材図書
ニットの基礎技術
参考図書 小物集
その他資料 参考作品

<p>記載者書名欄 小林 桂子</p>

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科 2年	単 位	単位2
科目コード	51120	科目名	ファッションデザイン画 II	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

幅広いデザインセンスと個性を兼ね備えたファッションデザイン画を作成する事を目標とする

- ・ ヌードポーズ応用
 - (a) ポーズとプロポーション
- ・ デザイン展開
 - (b) (a)のポーズを使用した着装表現
- ・ 製品図応用
 - (c) (b)のデザイン画の服のアイテム図
- ・ 画材研究
 - (1) パステルによる表現と扱い方
 - (2) マーカーによる表現と扱い方
 - (3) 各種水彩の扱い方／デザイナーズカラー等
- ・ テーマからのデザイン発想
 - 各自デザインテーマを決めオリジナルデザインを展開
- ・ マイコレクション
 - オリジナルコレクション12体
- ・ マイデザイン
 - 色・素材・フォルムを分析し、オリジナルデザイン企画を提案
- ・ アイテム研究
 - アイテムの歴史とディティールの研究およびデザイン展開
- ・ 修了制作
 - デザインと構成／校内ファッション画展の作品作成

評価方法・対象・比重
各課題制作物と学年末試験による評価

主要教材図書	文化ファッション大系『ファッションデザイン画』
参考図書	
その他資料	

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科 2年	単 位	1 単位
科目コード	20110	科目名	アパレル染色演習 I	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）： 篠原 幸子	共同担当者： 伊藤 望
-----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

テキスタイル染色に関する基礎的な知識、技法を各種実験・実習を通じて得ることにより、アパレルにおける新たなデザイン発想の可能性を広げる。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについて理解を深めることを目標とする。

- | | | |
|--------------------|---|----------------------|
| 1. 縮絨加工 （2コマ） | ・羊毛の縮絨性について
・繊維を生地にする（原毛からのフェルト制作）
・ニードルパンチの応用 | （講義）
（実習）
（実習） |
| 2. 染色概論 （1コマ） | ・主な染料の種類と染色性、染色の仕組み、染色条件について | （講義） |
| 3. 絞り染 （2コマ） | ・絞り加工による服飾素材づくり | （講義・実習） |
| 4. 捺染加工 （6コマ） | ・捺染の種類、染料と顔料の違いについて
・顔料樹脂染料、反応性染料プリント
・特殊プリント加工 | （講義）
（実習）
（実習） |
| 5. 乾式熱転写プリント （1コマ） | ・分散染料による乾式転写の原理および技法について | （講義・実習） |
| 6. マーブリング （1コマ） | ・インクによるマーブル模様表現について | （講義・実習） |
| 7. 天然染料 （1コマ） | ・天然染料と化学合成染料の違いについて
・天然染料の特性について | （講義） |

評価方法・対象・比重

各実験・実習ごとの作品、レポートによる総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾専門講座 3. アパレル染色論

参考図書

その他資料

記載者氏名

篠原 幸子

科コード 12052	科 名 ファッション高度専門士科2年	単 位 2
科目コード 20220	科目名 アパレル素材Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表)：野口 美千代	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

完成度の高いアパレル製品をつくるには、素材の特性を最大限に引き出す必要がある。1年次のアパレル素材論Ⅰでは、繊維、糸、布地の基本的な知識を学習した。2年次では、講義、実験・実習を通し、布地の性能・風合い、テキスタイルの産地等、アパレル素材に関し、より深い知識を習得する。

授業概要

1. テキスタイルの構成要素・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9コマ
 テキスタイルの構成要素、各種の繊維の布地について解説。(講義・実習)
 新素材・機能性素材等の解説。(講義・実習)
2. 布地の風合い表現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4コマ
 各種布地の風合い表現方法を解説。(講義・実習)
3. 布地の性能実験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6コマ
 布地の基本性能を解説。(講義・実習・発表)
4. 皮革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ
 皮革の性質、特徴、種類等を解説。
5. プリーツ性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2コマ
 各種の布地についてプリーツ性について解説。(講義・実習)
6. 布地の産地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3コマ
 織物産地を解説。(講義・実習)
 ニット産地を解説。(講義・実習)
7. ニットの布地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ
 各種のニットの布地に関して解説。(講義・実習)
8. 企画。設計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1コマ
 アパレル素材論Ⅱのまとめ(講義)

評価方法・対象・比重

学年末試験、レポート課題、授業姿勢、出席状況の総合評価

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座①「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書「ワークブック アパレル素材論」文化服装学院編 教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者書名欄 野口美千代

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科2年	単 位	1単位
科目コード	60210	科目名	ファッションビジネス論 I	授業期間	前期 ()

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの現状を把握する
- ・商品企画のプロセスと必要な情報活動についての把握をする

I. ファッションビジネス 基礎 (1コマ) …… 講義

- ① オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (1コマ) …… 講義

- ① 情報活動の位置づけと重要性について
- ② ファッション情報の流れについて

III. 市場調査の手法 (4コマ) …… 講義・演習

- ① 店頭情報の把握
- ② 商品情報の収集と分析

IV. 商環境比較調査 (7コマ) …… 講義・演習

- ① 新規にファッションブランド立ち上げに伴う出店エリアの比較調査、分析

評価方法・対象・比重

制作物 : 出席(7:3)

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワードなど

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 倫子

科コード 12052	科 名 ファッション高度専門士 科 2 年	単 位	1
科目コード 61100	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	後期

担当教員(代表):佐藤 由利子	共同担当者:
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ① マーケティングの基礎を習得する。また、グローバルな視野でマーケットを見つめるスタートラインに立つ
- ②客観的に市場を見て判断する目を養う→自分以外、自分の興味以外に焦点を当てた特定ターゲットのブランド設計
- ③グループワークでのブランド設計を通して自らの役割と他者との関わり方を学ぶ。プレゼンテーション能力を磨く

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1 オリエンテーション(0.5 コマ/講義)

- ・この授業が目指す方向性の共有
- ・全体の流れとこの学科の着地点解説(ブランド設計を実践しながら、マーケティングの基礎を学ぶ)

2 イメージワーク(0.5 コマ/実習)

- ・発想力を高めるためのイメージワーク(頭の中にあるイメージを言葉を通して引き出す練習)

3 マーケティングとは(1 コマ/講義)

- ・顧客満足の価値観の変遷。それをどのようにマーケティングと結び付けるか

4 マーケティング活動のステップ(1 コマ/講義・実習)

- ・マーケティング活動理解
- ・戦略立案のための市場機会分析、市場細分化とターゲット、マーケティングミックス
- ・【母親世代に向けたファッションブランド】を設計する→グループワーク

5 マーケティング戦略立案(2 コマ/講義・実習)

- ・ブランド設計の戦略立案のステップを学ぶ。

6 ブランド設計のためのマーケティングをグループワークで実践する(5 コマ/講義・実習)

- ・ターゲットに関するリサーチ情報整理・分析
- ・ブランドコンセプト立案 ・ブランドポジショニング・商品企画・商品開発
- ・チャネル戦略・コミュニケーション戦略

7 企画のまとめ(2 コマ/講義・実習)

- ・マップ制作

8 プレゼンテーション(1 コマ/発表)

- ・新ブランド発表

評価方法・対象・比重

後期試験とグループワーク実習状況とグループワーク評価

主要教材図書

特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

記載者書名欄 佐藤由利子

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科	2年
科目コード 53000	科目名 色彩計画	

単 位	1
授業期間	後期

担当教員(代表)：天野豊久

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザイン、コーディネートにおいて計画的に行う色彩活用の技術や考え方を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|---------|---|---------------|
| 1. 概論 | ファッションにおける色彩の役割
色彩の基礎(復習) | 〈講義および演習 1コマ〉 |
| 2. 配色 | 色相・トーンによる配色
基調色と配合色
色相・トーンに基づいたアソートカラーパレットと配色 | 〈講義および演習 2コマ〉 |
| 3. 配色技法 | ファッションカラーコーディネート
トーン・オン・トーン／フォ・カマイユ
トーン・イン・トーン／トータル
配色の技法
無彩色の配色
ナチュラルハーモニー／コンプレックスハーモニー
アンダートーン
ファッションイメージと配色 | 〈講義および演習 6コマ〉 |
| 4. 色彩計画 | 色彩と産業／色彩と心理
流行色の仕組み
色彩の心理的な効果(興奮色と沈静色)／色彩嗜好
色彩計画①
カラートレンド情報からのコンセプト、イメージ構築
色彩計画②
デザインからのカラーバリエーション展開 | 〈講義および演習 6コマ〉 |

評価方法・対象・比重

各演習課題に対する総合評価を主とし、出席など授業態度を加味して最終評価とする。

主要教材図書

文化ファッション体系『服飾デザイン』(文化出版局)

参考図書

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

記載者書名欄 天野豊久

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科2年	単 位	1
科目コード	34000	科目名	帽 子	授業期間	前期

担当教員(代表)： 太田 泉	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

帽子の一般常識と帽子に対する知識を深め、服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる
トータルイメージを表現する力を養い、作品製作を通して帽子のイメージや服とのバランス感覚などを把握

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I オリエンテーション 講義 1コマ

- ・帽子の形の種類、素材、木型、用具など専門性の説明
- ・冬物帽子(冬物帽体)のデザイン相談

II 実物制作 2点の説明

- (1)冬物帽子(フェルト帽体)製作
- (2)布帛作品製作

(1)冬物帽子(フェルト帽体)製作 講義、演習 6コマ

- ・ウールフェルト・ファーフェルト等、帽子用フェルト帽体による実物製作
木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成型方法を指導

(2)布帛作品製作

- ・布帛の帽子(皮革も含む)製作 講義・演習 [7コマ]
- ① 基礎作図からパターンの応用、製作方法
- ② 仮縫い方法、芯地の選び方、縫製技術についてデザイン別、
- ③ 素材別の製作方法

評価方法・対象・比重

作品：授業姿勢 8：2

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

参考図書

各種帽子写真集など

その他資料

コスチューム資料室標本

記載者書名欄 太田 泉

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	40420	科目名	服装解剖学Ⅱ	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：伊藤由美子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1 年次で学んだ服装解剖学の基礎を発展させ、筋の構造を解剖学的に理解させる。さらに動態計測（石膏計測）実習により、衣服製作に必要な皮膚の運動量・変化を把握させ、計測結果を基に機能性大の衣服設計（デザイン）を行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション（講義内容の説明）	16	
2	機能性大の衣服（機能性大の袖）	17	
3	〃 （上肢の運動と動態計測からの衣服制作）	18	
4	人体の運動と筋（筋の種類）	19	
5	人体の運動計測（石膏計測の準備と手順、要点説明）	20	
6	人体の運動計測（石膏実習）	21	
7	〃	22	
8	〃 （貼紙実習）	23	
9	〃 （和紙の展開実習）	24	
10	人体の運動と筋（頸部の筋）	25	
11	人体の運動と筋（胸部の種類）	26	
12	人体の運動と筋（背部の種類）	27	
13	人体の運動と筋（腹部の種類）	28	
14	女性の体型について（体型の経年変化）	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

レポート…60%、ノート…20%、出欠状況…10%、プリント…10%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 伊藤由美子

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科2年	単 位	2単位
科目コード	56520	科目名	コンピュータグラフィックⅡ	授業期間	通年（ ）

担当教員(代表)：加藤正人	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図/デジタルファッション画の展開力、応用力、細部表現等、実務能力習得を目指す。ブランドロゴ及びブランディングツール製作を通してグラフィックによるファッションブランディングの意識を養う。

授業概要

(1) 衣服製品図の制作/応用(6コマ)

- ・ Illustratorによる衣服製品図の製作
- ・ 各アイテム別描画表現
- ・ パーツ、ディティールの表現
- ・ デザイン展開
- ・ デザイン画のまとめ方/レイアウト

(2) デジタルファッション画の制作(5コマ)

- ・ Photoshopによるファッションデザイン画、スタイル画の製作
- ・ デザインの展開

(3) グラフィックパターンの製作(7コマ)

- ・ 連続柄の制作(Photoshop, Illustrator)
- ・ 柄の送り、リピートの製作
- ・ デジタルファッション画、衣服製品図の制作と柄の落とし込み
- ・ レイアウト、デザイン解説とまとめ

(4) ブランドロゴの製作(7コマ)

- ・ CI(コーポレートアイデンティティ)について
- ・ ブランドロゴの機能と役割
- ・ 図形のデザインと制作
- ・ 文字のデザインと加工
- ・ ロゴ&マークの制作プロセス

(5) ブランディングツールのデザイン(5コマ)

- ・ 各ブランディングツールの機能と役割
- ・ 商品下げ札(プロダクトカード)のデザイン
- ・ 織りネーム(ブランドタグ)のデザイン
- ・ モノグラムのデザイン

- ・ ショッパーのデザイン
- ・ 自由製作

使用ソフト

- ・ Mac OS
- ・ Adobe Photoshop
- ・ Adobe Illustrator

評価方法

- ・ 提出課題
- ・ 実技試験（前・後期）
- ・ 出席率

主要教材図書

- ・ なし

参考図書

- ・ なし

その他資料

- ・ 課題別各種プリント、作例

評価方法・対象・比重

提出課題 実技試験（前・後期） 出席率

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	課題別各種プリント、作例

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	90120	科目名	ファッション英会話 II（選択）	授業期間	（ 通年 ）

担当教員（代表）： 石井 真弓	共同担当者：
	なし

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

基本的な文法の確認をしつつ、日常会話に重点を置く。また、リスニングを取り入れた英会話の練習ができるコースを目指す。ファッション記事の導入やハロウィーン、クリスマスなど英語文化の DVD を取り入れ、学生の興味を高める。Show & Tell によるプレゼンテーションを行うことにより、英語のエッセー構造を学び、英語発話力を高める。

レベルは初級の中位から上位まで。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション / 自己紹介	15	ユニット6 / 夏休みのことを絵葉書にする
2	ユニット1 / 自己紹介	16	ユニット7 / 仕事・スキル・能力
3	ユニット2 / 人の描写（年齢、髪型などの語彙）	17	ユニット7 / 面接をロールプレー
4	ユニット2 / （友人、家族の描写）	18	ユニット8 / 招待の受け入れと断り
5	ユニット3 / 日常生活（日常生活に必要な動詞）	19	Halloween（語彙・起源）
6	ユニット3 / （頻度を表す副詞）	20	ユニット9 / 未来時制
7	ユニット4 / 場所の描写（There is 構文）	21	ユニット9 / 手相による将来
8	ユニット4 / 場所を表す前置詞	22	ユニット10 / ショッピング
9	ユニット5 / 道案内	23	ユニット10 / お気に入りの店の広告作成
10	ユニット5 / home party招待状作成	24	Christmas / プレゼンテーション準備
11	プレゼンテーション 準備（DVDを見て、skills）	25	プレゼンテーション 準備（原稿作成）
12	プレゼンテーション 準備（原稿作成）	26	プレゼンテーション 準備（原稿作成）
13	プレゼンテーション 発表	27	プレゼンテーション 発表
14	ユニット6 / 過去形		

評価方法・対象・比重

平常点（出席、クラス参加）：30% 授業中の小テスト：30% ライティング：10% プレゼンテーション：30%

主要教材図書	English Firsthand 1(ピアソンロングマン) English Phrases for Fashion（文化出版局）
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名	石井 真弓
-------	-------

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12052	科 名	ファッション高度専門士2年	単 位	2
科目コード	90720	科目名	フランス語 II	授業期間	通年

担当教員(代表) : ジル・ランドウーチ	共同担当者 :
----------------------	---------

科目概要 (教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

フランス語を半期学んだ学生を対象としたクラス運営を目標とする。フランス語独特の音に慣れ、基本的な文法・動詞の活用ができるようにする。またフランス語で簡単に日常的にかかわる挨拶ができるように、また初歩のコミュニケーションをフランス語でできることを目指す。

1	4/13	オリエンテーション	15	9/28	Je voudrais + er 動詞
2	4/20	コース説明・導入	16	10/5	質問詞
3	4/27	être 動詞	17	10/19	道案内
4	5/11	名詞	18	10/26	切符を買う
5	5/25	avoir 動詞	19	11/9	人物描写
6	6/1	aller 動詞 + 方向	20	11/16	finir 動詞
7	6/8	prendre 動詞	21	11/30	devoir 動詞
8	6/15	faire 動詞	22	12/7	sortir 動詞
9	6/22	過去形導入	23	12/14	フランス紹介
10	6/29	過去形	24	1/12	復習
11	7/6	場所を示す表現	25	1/18	未来形
12	7/13	復習	26	1/25	好みを表現
13	9/7	目的(～するため)の表現	27	2/1	まとめと発表
14	9/14	vouloir 動詞			

評価方法・対象・比重

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等

EN SCENE I 「場面で学ぶフランス語 1」 Momoyo Takahashi & Nicolas Jgonday 三修社

記載者署名欄 薩田 須美子

科コード 12052	科名 ファッション高度専門士科2年	単 位	1
科目コード 96100	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：安井 涼子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ・研修を通して更に学生同士のコミュニケーションを深めると共に、研修先での企業研修、工場見学、美術館・博物館見学、体験学習から得られる自己の可能性を発見出来る様、創造性の領域を広げる。
- ・研修先の企業の方とも、積極的に質問や自己アピールに挑戦し、自己の知識の引き出しを多く得られる様、後々の自分の進むべき道の参考になる様に研修中もアンテナを張る努力をする。
- ・舞台衣装見学、美術館見学等を通し視野を広げ感性を磨く。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1、研修旅行…近畿地方（名古屋、和歌山、大阪、岐阜）の工場見学も含めた研修旅行

※各自現地でもらった資料のまとめ。

2、舞台衣装見学…能見学

3、美術館見

評価方法・対象・比重

参加出席状況による評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 しおり

記載者書名欄 安井 涼子

科コード12052	科名 ファッション高度専門士科2年	単 位	1
科目コード98157	科目名 特別講義・キャリア開発Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：安井 涼子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

- ・ レギュラーカリキュラムに含まれない関連分野の専門知識を習得する。
- ・ アパレル産業の現状や先輩の実体験をアドバイスされることにより将来の方向性を決めていく。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、トレンド情報 4コマ(前期・後期)
- 2、テキスタイルトレンド情報 2コマ(前期・後期)
- 3、クリエイションとファッションビジネス 1コマ(前期)
- 4、起業について 1コマ(前期)
- 5、企画職の仕事 1コマ(前期)
- 6、子供服について 1コマ(後期)
- 7、ビジネスコミュニケーション 5コマ(後期)

評価方法・対象・比重

出欠状況による評価

主要教材図書

参考図書 WWD・Fashion News (パリ、ロンドンコレクション)・・・株式会社 INFAS パブリケーションズ

その他資料 各講師による資料

記載者書名欄 安井 涼子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12052	科 名 ファッション高度専門士科 2年	単 位	1
科目コード 96812	科目名 コラボレーションb (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表)：安井 涼子	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。人と人との様々なつながりと調和が必要となるため柔軟な人間力、コミュニケーション能力を身につける。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>●コラボレーション企画依頼があった際に、教育効果があるものに対し参加する。(13コマ)</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出欠、作品・商品製作及びレポート提出</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 安井 涼子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	15
科目コード 01521	科目名 アパレル造形 II A	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、平面作図からだけのデザインではなく立体からもとえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品製作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。

授業概要

アパレル造形 論	II A	1 単位	・	II B	1 単位
アパレル造形 デザイン	II A	1 単位	・	II B	2 単位
アパレル造形 ドレーピング	II A	2 単位	・	II B	2 単位
アパレル造形 実技	II A	3 単位	・	II B	3 単位

1 カジュアルウェア I、II 62コマ（前期）

デザイン／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

※ コラボレーション活動・新歓作品含む

2 バザー作品（カットソー） 15コマ（前期）

文化祭バザー作品（セットアップ）

3 ウィンターデザインコート 37コマ（前期・後期）

デザイン／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

4 ニューフォーマル 12コマ（後期）

デザイン／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

5 修了製作 61コマ（後期）

デザイン／パターン／実物製作／レポート、プレゼン

6 ドレーピング 39コマ（前期・後期）

ストレート原型／3面構成 JK／ラグランスリーブコート／OP・ドレープ／自由研究

※使用ボディ・・・工業ボディ

評価方法・対象・比重

課題作品によるデザイン・パターンメイキング・テクニック・レポート／プレゼンの総合評価（70%）

及び前期・後期試験（30%）の総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系

その他資料 各種実物標本、トレンドマップ資料、部分縫い

記載者書名欄 朴澤 明子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科 3年	単 位	2単位
科目コード	08020	科目名	量産技術実習 II	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：加藤 紀人	共同担当者：佐藤 明彦
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

量産体制のグループでの実習を通し、アパレルにおける組織的な生産のプロセスと、分業による効率的な作業について理解を深めることを目標とする。

メーカー側の製品企画・工場側の製造企画に始まり、重衣料の生産活動を通して「モノ」「情報」の流れを掴み、所定の品質を実現するための手法や、原価、納期までに完成させるための計画について考える。

<実習製作物 … ウール コート>

1. ガイダンス …（1）
 - ①実習の内容・目的の説明
 - ②作成する帳票類、ゲージの説明
 - ③班毎に役割分担
2. 担当教員 顔合わせ …（1）
 - ①担当教員紹介
 - ②パターン、指示書類を配布し、仕様の確認
3. サンプル裁断 …（1）
 - ①先上げサンプル作成のための裁断
 - ②芯貼り
 - ③ゲージ作成
4. サンプル縫製 …（5）
 - ①サンプル縫製を通じ、仕様、工程を確認
 - ②作業標準書作成
5. 生産指示書作成 …（3）
 - ①作業標準書作成、各種書類清書
 - ②ゲージ作成
6. マーキング …（1）
7. 裁断・芯貼り …（2）
8. ミーティング …（1）
9. 本生産 ※分業による …（12）
10. 検品、反省会 …（1）

評価方法・対象・比重

平常点（出欠席等） 70% 提出物 30%

主要教材図書 「アパレル生産管理」
「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書 なし

その他資料 前年度帳票サンプル

記載者氏名 加藤 紀人

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	2
科目コード 97530	科目名 自由研究 Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、平面作図からだけのデザインではなく立体からもとえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品製作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

各自決めた課題を自由に研究する。

コンテスト活動者課題実習

評価方法・対象・比重

参加出席によるP評価

主要教材図書

なし

参考図書 各自テーマに基づいた参考図書

その他資料 しおり

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科 3年	単 位	単位2
科目コード	51130	科目名	ファッションデザイン画 III	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッションデザイン応用技術を習得して、商品企画提案をデザイン画にしてファイル化とプレゼンテーションすること。

個人の満足だけではなくクライアントを意識した高い制度のデザインワークを行えることを目標とする。

前期1～5

- (3) ヌードポーズ/着装デザイン
人体のプロポーションを把握し、角度と動きを立体的に描く表現技術を習得する
- (3) デザイン発想1 デザインワーク(1)/ デザインコンセプトを決めて独自のデザイン画を考える
- (4) デザイン発想2 デザインワーク(2)/ 機能性を意識した衣服のデザインを考案する
- (3) マイコレクション テーマとコンセプト立案の基にした服のデザインのデザイン画とアイテム図を描きファイル化する

後期5～7

- (5) ファッションデザインワーク(シーズンとトレンド)
1つのテーマ設定のデザインをスタイル画表現・アイテム製品図をイメージボードにまとめる。
- (6) 終了作品/校内ファッション画展
これまで習得した技術の成果をまとめる

評価方法・対象・比重

各課題制作物と学年末試験による評価

主要教材図書	文化ファッション大系『ファッションデザイン画』
参考図書	
その他資料	

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1
科目コード	40000	科目名	アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表)：吉村とも子	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル品質管理のための要因となる品質基準、評価法、取扱い方法や品質表示、各種法規制などについて講義・演習、見学等をとおして修得させる。 社会環境及び消費性能を意識し、アパレルの企画、生産、販売などに学んだ知識がいかせるようにする。</p>

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）		
1. アパレルと品質	講義	1 コマ
・ アパレルに求められる品質		
・ アパレルの製造工程管理		
2. アパレル製品の品質表示と法規制	講義	2 コマ
・ 家庭用品品質表示法 繊維製品の品質表示		
・ 任意表示		
・ 関連する法規制		
3. アパレル製品の取扱い	講義・実習	5 コマ
・ 家庭洗濯・商業洗濯		
・ 特殊クリーニング		
・ 保管		
・ 耐薬品性（しみ抜き実習）		
・ 特徴ある素材とその取扱い		
4. 品質管理の基礎知識及び試験方法	講義・演習	4 コマ
・ 衣料用生地の検査基準ガイドライン		
・ 生地欠点の解説		
・ 染色堅牢度実験		
・ 寸法変化率実験		
5. アパレル製品の保証とクレーム	講義	1 コマ
・ 商品の保障とクレーム対策		
・ クレーム事例の紹介		
6. クリーニング工場 見学	見学	1 コマ
		計 14 コマ

評価方法・対象・比重
試験を主に、レポート、出欠状況を総合評価

<p>主要教材図書</p> <p>文化ファッション大系服飾関連専門講座②アパレル品質論文化服装学院編 文化出版局発行</p>
参考図書
その他資料

記載者書名欄	吉村とも子
--------	-------

2015 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	2
科目コード	63100	科目名	アパレルマーチャンダイジング	授業期間	通年

担当教員(代表)：波多野 辰美	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル業界におけるマーチャンダイジング業務の実務を講義と実習により指導し、アパレルマーチャンダイジングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>(前期)</p> <p>テーマ アパレルマーチャンダイジングの概要 講義 コマ数＝7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MDの5適とは ・ファッションマーケットの現状 ・生産体制とMDスケジュール ・広義のブランド力とは ・マーケティング発想のデザインとは ・ファッションブランド構築の方法論 ・カセット企画とは <p>テーマ ブランドマーチャンダイジング実践 実習 コマ数＝6</p> <p>既存のブランドの企画業務を企業と同様の手順で行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドのターゲット設定 ・ターゲットイメージマップ作成 ・ブランドコンセプト設定 ・MDマップ作成 ・企画プレゼンテーション <p>(後期)</p> <p>テーマ アパレル業界の計数管理 講義 コマ数＝4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VMDとSKU管理 ・アパレル業界の計数管理 ・売上予算作成からの生産計画 ・アイテム別生産計画表 <p>テーマ ブランド構築の実践 実習 コマ数＝11</p> <p>具体的な商業施設を想定したブランドマーチャンダイジング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット設定と分析 ・コンセプト設定 ・イメージマップ作成 ・生産計画表作成 ・MDマップ作成 ・プレゼンテーション
--

評価方法・対象・比重

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	1 単位
科目コード 43121	科目名 CADパターンメイキングⅡA	授業期間	前期 ()

担当教員(代表)：高津 由規子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル産業において工業化された設計・生産・製造のプロセスを認識し、生産技術の1分野である設計に活用される「アパレルCAD」システムを利用して、工業生産設計の流れと設計の考え方・手法・方法の理解を深め、設計システムの構築と管理の仕組み迄の内容を行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・基本操作	16	
2	応用パターンメイキングVer. 1-1スカート展開	17	
3	応用パターンメイキングVer. 1-2スカート展開	18	
4	応用パターンメイキングVer. 1-3スカート展開	19	
5	スキャナーとトレース応用	20	
6	応用パターンメイキングVer. 2-1ジャケット	21	
7	応用パターンメイキングVer. 2-2ジャケット	22	
8	応用パターンメイキングVer. 2-3製品図	23	
9	マーキング	24	
10	縫製仕様書	25	
11	応用パターンメイキングVer. 3-1シャツブラウス	26	
12	応用パターンメイキングVer. 3-2ねじり	27	
13	グレーディング方法・仕方	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

テストは行わず授業内でのプリント提出・授業態度・配布プリントのまとめ方・出欠席・授業態度で評価

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	特になし

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1 単位
科目コード	43122	科目名	CADパターンメイキングⅡB（選択）	授業期間	後期（ ）

担当教員（代表）：高津 由規子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル産業において工業化された設計・生産・製造のプロセスを認識し、生産技術の1分野である設計に活用される「アパレルCAD」システムを利用して、工業生産設計の流れと設計の考え方・手法・方法の理解を深め、設計システムの構築と管理の仕組み迄の内容を行う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	16	
2	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	17	
3	部品図・オリジナルパターン	18	
4	部品図・オリジナルパターン	19	
5	応用縫い代・オリジナルパターン	20	
6	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	21	
7	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	22	
8	縫製仕様書・オリジナルパターン	23	
9	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	24	
10	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	25	
11	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	26	
12	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	27	
13	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	28	
14	工業用パターンメイキング・オリジナルパターン	29	
15	縫製仕様書・オリジナルパターン	30	

評価方法・対象・比重

テストは行わず授業内でのプリント提出・プロットアウト・授業態度・配布プリントのまとめ方・出欠席・授業態度で評価

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	特になし

記載者氏名

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	
科目コード	13240	科目名	ニット演習（カット&ソー）	授業期間	2015, 4, 15～7, 22

担当教員(代表)：西川 真令	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

丸編みカットソーの縫製の基礎的知識と応用 美しいシルエットを作る立体パターンの理解と企業パターンの実践指導。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

講義と実習内容

横編み 縦編み 丸編みのニットジャージー素材の基礎知識と各種ミシンの縫製技術の理解と習得。

カットソー丸編み概論・・・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と基本的知識の取得。

パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報伝える

立体パターンの基本知識・・・バスト分量のダーツを前身頃に分散してダーツ無しのパターンの習得と 身頃裾を水平にしたボーダー柄や編み立てリブニットに適した工業パターンの習得と高級感のある縫い方指導をもって教える。

商品の見方、知識構築からくる美しく機能的な商品作りを教える。

針を使わないで縫い上げる・・・現在縫製工場マチ針無しで縫い上げる縫製指導

現存のカジュアルだけでなく将来を見据えたドレッシーなカットソーデザインの考え方を教える

フライスと天竺の違いからくるパターン身幅分量とデザインの違いを教える

デザインに置けるカットソー各種ミシンと特殊ミシンの幅広い資料作りからくる縫製取得

デザイン縫製の広がから下着、水着、スポーツウェアにも関心を持たせ 縫製での製品作りの経験から自信を持たせ就職先を広げるようにする。

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書

国内外雑誌とパリコレ・東・コレクション実物製品からのパターンと作品の解説説明

参考図書

その他資料 ニット縫い見本サンプルを参考見本とする

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	2単位
科目コード 56530	科目名 コンピュータグラフィックⅢ	授業期間	(28)

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者：松尾
----------------	----------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

2年時までに習得したアドビ・イラストレーターを使ってのハンガーイラスト作成とその表現のレベルを上げ

より美しく精度の高い物を描ける様にする。また、描いたデザインデータの展開方法、先染柄やプリント柄の図案作成方法を学び、企画書としての提案力を高める。デザイン画もC.Gで描く事を学び、イラストとしての展開スピードのアップ

パリエーションの表現力を上げ、ビジュアル・プレゼンテーション作成技術を習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イラストレーターで描く2年時の復習	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	19	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
5	シャツを描く=デザインの効果的な展開方法	20	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
6	ジャケット&ボトムを描く(フロント&バックスタイル)	21	スタイル画を描く=色や柄を展開したイラスト
7	ディテールの作成=リブ・シャーリング・フリル・ペプラム	22	スタイル画を描く=デザインパリエーション
8	ディテールの作成=テープ・パイピング・レースアップ	23	プレゼンテーションの表現
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	デザイン企画書の制作
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	デザイン企画書の制作
11	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	26	デザイン企画書の制作
12	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	27	デザイン企画書の制作
13	ハンガーイラストでの商品展開(レジュメ)の作成	28	デザイン企画書の制作
14	ベルト、バックルを描く=金属の表現、レースアップ表現	29	
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	30	

評価方法・対象・比重

課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3 年	単 位	2 単位
科目コード 56530	科目名 グラフィックワークⅢ	授業期間	(28)

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者： 松尾
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

2 年時までに習得したアドビ・イラストレーターを使ってのハンガーイラスト作成とその表現のレベルを上げ
より美しく精度の高い物を描ける様にする。また、描いたデザインデータの展開方法、先染柄やプリント柄の図案作成方法を学び、企画書としての提案力を高める。デザイン画も C.G で描く事を学び、イラストとしての展開スピードのアップ
パリエーションの表現力を上げ、ビジュアル・プレゼンテーション作成技術を習得する。

授業概要＝テーマ（大・中・小）、方法（講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など）、制作物、

テーマ：（大）コンピューターを利用して表現する、より完成度の高いプレゼンテーション資料の作成

（中）デザイン、企画展開のスピードアップ

（小）イラストレーターでのスタイル画作成

授業内容：イラストレーターによる展開を想定したハンガーイラスト・データ作成

展開・レイアウト・構成のベースを学ぶ

イラストレーターで描くスタイル画の基礎と、そのデータの作り方

写真、イラスト、カラーイメージ、テキストなど、全てで構成した企画書の表現

授業方法：生徒の前で実演する

生徒に実習させ、個々の作業をサポートする

学習用のデータを配布

制作物：スタイル画・ハンガーイラストのよる企画提案書の作成

使用パソコン及びソフト：imac アドビ イラストレーターCS5 ・アドビ フォトショッップCS5

評価方法・対象・比重

課題制作物＜スキル及びデザイン・イメージの表現力＞・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	1
科目コード 49010	科目名 ファッション特論Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者：各回により担当者が変わる
----------------	--------------------

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、平面作図からだけのデザインではなく立体からもとらえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品製作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1、染色工場見学・・・・・・篠原 幸子 氏 引率 (2)

(株)川合染工場見学

2、ドレーピングセミナー・・・・・・樋口 吉徳 氏 (2)

コレクションを読み解く

3、天然染料とは・・・・・・篠原 幸子 氏 (2)

作品制作における知識とテクニック

4、テキスタイルコレクション・・・・・・中川 清美 氏 (2)

アンティークからヴィンテージテキスタイルの世界

5、品質管理とは・・・・・・吉村 とも子 氏 引率 (2)

日本ラボテック(株)見学

6、民俗学・・・・・・横田 尚美 氏 (2)

民族衣装から現代衣装まで

7、パタンナーの仕事・・・・・・未定 (1)

平面からのパターン展開

8、就職対策・・・・・・未定 (1)

ポートフォリオ制作

評価方法・対象・比重

出欠及び作品提出による評価

主要教材図書
なし

参考図書 なし

その他資料 各講師による資料

記載者書名欄 朴澤 明子

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1
科目コード	60500	科目名	テキスタイル産業論	授業期間	後期

担当教員(代表)：小笠原 宏	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

1. 服地の基本的な知識を知る。アパレルで使用されている服地100種程度
2. 新しく開発し注目されている素材や複合素材の紹介（加工素材も含む）
3. 編物（ニット・ジャージ）の編地や服地を知る
4. 現在業界で行われているテキスタイルの生産工程と流通を知る
5. ファッション情報とテキスタイルの商品企画の進め方を知る

1. 服地の基本的な知識を知る
 - ・布帛・ジャージ・レースなど布地の名前をマスターする。
 - ・100種程度・使用目的・素材（服地の特性）
 - ・（繊維から糸・織物までの復習を含む）
2. 複合素材（新しく開発された複合素材）
 - ・複合繊維（コンジュケートヤーンと異形断面と側面改良繊維）
 - ・糸の複合化 ・加工による複合化素材（サンプルにて）
 - ◎複合素材の服地（混紡・混織・交燃・交織・交編）と後加工による服地
3. 編物（ニット）の服地（50種のジャージサンプルで説明）
 - ◎編物の基本組織（経編・緯編）
 - ・織物と編物の違いと特性
 - ・編物の基本組織と変化編組織
 - ◎天竺編組織のジャージの服地の特性と用途
 - ◎ダブル編ジャージの服の特性と用途
 - ◎経編ジャージの服地の特性と用途
 - ◎ニットやジャージの問題点
4. 服地の生産と流通（企画～生産）
 - ◎服地の生産（布帛・ジャージ）先染・後染
 - その他の加工による生産のスケジュール
 - ◎デザイナー・商品企画者のためのスケジュール進行表の作成の仕方
 - ◎服地の流通
 - ・川上～川下（問屋・商社の流通の現在）
 - ・メーカー別（服地）の生産とタイムスケジュール
 - ・（原糸メーカー ・ 機屋 ・ ニッター ・ コンバーター）
5. テキスタイルの新しい情報（新しい服地の感性とは）
 - ◎国内・海外の新しいテキスタイルの方向
 - ◎ファブルケーションの配色。
 - ・特にニットやジャージの配色の大切な所（ニットの配色の問題点）
6. 服地のデザインの進行の仕方
 - ◎デザインの発想
 - ◎海外の素材・デザインの情報
 - ◎アパレル側との素材情報の取り組み方と素材企画の進め方
7. 先染柄作成（課題）提出物
 - ・平織組織又は綾織組織（4～5色）
 - 色鉛筆で1mm方眼紙で作成する
8. 素材テスト

評価方法・対象・比重

素材テスト・出席日数・授業態度・作品（提出物）の内容の総合点

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料

各講義のテキスト及びサンプルは＜講師作成＞の物を使用する

記載者書名欄

2015 年度 カリキュラム科目概要

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3 年	単 位 2
科目コード 42500	科目名 生産管理各論 生産企画	授業期間 通年
担当教員(代表)： 渡井 邦重		共同担当者：
<p>科目概要（教育目標・レベル設定など。200 字以内で記入してください。HP 等に引用し、公開します。）</p> <p>アパレル産業の生産プロセスの内、メーカーにおける生産関連業務の専門知識を習得することを目的とする。</p> <p>授業内容はアパレル生産担当者の業務範囲を業界関連図から読み解き、それぞれの分野で発生する各種管理活動について品質（Q）・原価（C）・納期（D）それぞれの観点から体系的に学習する。海外生産の拡大から多様化する生産の現状を理解し、今後のアパレル生産の行方を考慮の上、各自でアパレル製品の生産企画を立案し発表する。</p>		
<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ガイダンス (1) 生産管理者の役割 生産管理と生産企画の違い 2、生産の形態 (4) アパレルメーカー・縫製工場それぞれの業務の流れと管理 生産管理業務の概要と業務の流れ 委託生産とOEM/ODMの違い 商社の役割 3、生産前準備の実務と管理 (4) 生産計画と損益分岐点 資材発注 工場編成と外注管理 工賃設定 4、生産実行時の実務と管理 (3) 指図書発行 納期管理 物流管理 5、生産後処理の実務と管理 (4) 検査・検品と倉庫業務 減増産処理と原価管理及び原価計算 販売価格と原価の関係 6、生産企画 (3) 生産企画書の作成と発表 7、海外生産の基礎知識 (2) アパレル貿易とは 世界のアパレル生産拠点 日本の輸出入の現状 8、財務の基礎知識 (2) 財務諸表とは アパレル企業の財務分析の実例 9、グループ討議 (2) アパレル生産の問題点を協議し、発表する 10、今後の生産管理とは (1) 		
<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席率・提出物（20%） ＋ プレゼンテーション（20%） ＋ 筆記試験（60%）</p>		
<p>主要教材図書</p> <p>文化ファッション大系 アパレル生産講座⑪アパレル生産企画</p>		
<p>参考図書</p>		
<p>その他資料 適宜プリント配布</p>		
<p>記載者書名欄 渡井 邦重</p>		

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード	42610	科目名	生産管理各論 製造企画（選択）	授業期間	後期

担当教員（代表）：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

概要

既製服製造に関わる管理・分析手法、設備・システム設計の基礎的な知識を身につけることを目標とする。

基礎的な知識を基に、少人数で構成する折り鶴生産ラインを編成し、生産システムの違いを体験し、

その結果を考察することにより製造企画の理解を深める。

I. ガイダンス（1コマ）

- ① 授業概要を説明
- ② 既製服の製造環境について
- ③ 工場経営と生産管理

II. 縫製工場と生産設備（3コマ）

- ① 縫い目サンプル収集
- ② ジーンズの縫製仕様と工場生産の分析
- ③ シャツの縫製仕様と工場生産の分析
- ④ 紳士ジャケットの縫製仕様と工場生産の分析

III. 工程分析表（1コマ）

- ① 生産設備を活かしたシャツの工程分析表作成

IV. 工程改善・作業標準（1コマ）

- ① ECRS の活用
- ② 製造設備の活用
- ③ 作業標準書の作成

V. アタッチメント（1コマ）

- ① アタッチメントの知識
- ② 簡易アタッチメント作成

VI. 折り鶴生産ライン（3コマ）

- ① ピッチタイムの計測
- ② 作業分担の決定
- ③ チーム編成
- ④ シンクロシステム演習
- ⑤ TSS 演習

VII. 生産システム設計（3コマ）

- ① STP の設定
- ② 工程編成表の作成
- ③ アローダイアグラムの作成
- ④ 工場レイアウトの作成
- ⑤ まとめ

評価方法・対象・比重

評価方法：期末試験、提出物（工程分析表、工程編成表、工場レイアウト図）

評価比重：試験7割 提出物3割

主要教材図書

・私製プリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮澤 国博

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1
科目コード	13820	科目名	ニットアパレル造形 II (選択)	授業期間	後期

担当教員(代表): 小林 桂子	共同担当者: 御田 昭子
-----------------	--------------

教育目標・レベル設定など

ニットアパレルの基本的知識と製作技術を習得することにより、素材 テキスタイルの特徴を生かし、ニットのものづくりのプロセス学ぶ。ニットアパレル造形 (I) を基礎とし、(II) では家庭用手編み機を主に基礎編み作成。

工業機による手横機基礎編み作成

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

* 家庭用手編み機 (4.5 ピッチ 片板機)

- ・ 家庭用手編み機の構造と各部位の説明
- ・ 使用方法と使用上の注意

* 基礎編み 家庭用手編み機

- ① ゲージ差・・・ゲージ ダイアルの理解 (編み目の変化)
- ② 三原組織・・・メリヤス パール リブの理解
- ③ 構造の理解・・・成型のための増減法 傾斜成型の引き返し法
- ④ 変化組織 (模様編み各種)・・・レース タック ジャカード 片畦 プレーティング J I S 記号
パンチカード使用柄
- ⑤ 手動式手横機・・・7 G 基礎編み 編み出しゴム止め 総リブ 2×1 リブ 片畦 両畦 等

* 工業機概論

手編み → 家庭用手編み機 → 手動式手横機 → コンピュータ編み機

* 演習

- ①～⑤

* 産業技術センター校外授業

墨田区横綱 1-6-1 国際ファッションビル 12 階

TEL 03-3624-3731

評価方法・対象・比重

提出課題 出席状況

主要教材図書

ニットの基礎技術

参考図書

その他資料 ニットの実用知識 オリジナルプリント

記載者書名欄 小林 桂子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1
科目コード	31001	科目名	アクセサリーA（選択）	授業期間	後期

担当教員(代表)：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。アンティークや新しい素材を幅広く取りこみ、オリジナリティの高い作品、アートアクセサリーの制作、そして服作りのヒントにと意識している。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー</p> <p>参考作品の素材説明とアイディア提案</p> <p>2. アートアクセサリー制作実習</p> <p>樹脂の扱い方・アメリカンフラワーの扱い方・中川作品鑑賞</p> <p>3. アートアクセサリー制作実習</p> <p>アクリル絵の具・助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法</p> <p>4. アートアクセサリー制作実習</p> <p>仕上げ</p> <p>5. アンティークジュエリー鑑賞</p> <p>ヨーロッパを中心に 19C 中頃から 50 年代のジュエリーの細工について</p> <p>ジュエリーの諸知識について</p> <p>6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明</p> <p>制作実習</p> <p>7. シルバー粘土制作実習</p> <p>応用作品について仕上げ</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出・英字評価</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科 3年	単 位	1
科目コード	50200	科目名	デッサン	授業期間	

担当教員(代表)：牧かほり	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など

ものを見る目を養う＝対象物を客観的に見つめ。基本構造(構成、動き、立体感、質感など)をとらえる。見たものをそのまま描ける力＝感覚神経と運動神経の連係プレーを鍛える。描く、という事によって自分のクリエイションに新たな視点を見つける。

授業概要＝

基礎形体を描写することにより、遠近法、光と影の関係、反射光の存在など基本的な「描き方」を学ぶ。
ヌードクロッキーにて人物描写の体験
静物・石膏デッサンで物と物との「関係」の描き方、「空間」の描き方を学ぶ。
さらに、上手い絵、未熟な絵、魅力的な絵について考察し、今後の作品制作につなげる。

評価方法

提出物／A, B, C, F

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12053	科 名	ファッション高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード	40430	科目名	服装解剖学Ⅲ	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）：伊藤由美子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1・2年次で学習した人体の構造と運動を基礎とし、3次元計測による運動計測、人体の動きとパターンの関係について考察し、スポーツウェアの設計も考慮する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション（講義内容の説明）	16	
2	人種による体型とパターン	17	
3	大きいサイズの体型について	18	
4	グループ研究（3次元計測の手順・要点説明）	19	
5	特別講義 運動機能とスポーツウェア	20	
6	〃	21	
7	グループ研究（3次元計測 体表長ソフト）	22	
8	〃 （デザイン発想）	23	
9	体型の経年変化（中年・シニアの体型把握）	24	
10	〃 （中高年の体型に合わせたデザイン発想）	25	
11	計測方法（3次元計測方法…特許の計測方法について）	26	
12	下肢の構造とパンツについて	27	
13	機能性大のウェアについて	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

レポート…40%、グループ研究内容と発表…30%、実習過程…20%、出欠状況…10%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 伊藤由美子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	1
科目コード 96812	科目名 コラボレーションb	授業期間	通年

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、外部講師、企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。あわせて、ビジネス戦略にあわせた作品制作。個性を生かした表現方法を身につける。

授業概要

1 コラボレーション企画・・・8コマ

新入生歓迎ショーの作品作りを通し、ブランディングから作品制作まで

※ 株式会社 y's テキスタイル (オリジナルジャガード提供)

※ プロデュース・・・(株)ペンデュラム デザイナー：内田 聖 氏

2 商品企画・・・3コマ

商品のプロモーション、販売、プロダクト

※ プロデュース・・・(株)ペンデュラム デザイナー：内田 聖 氏

3 作品撮り・・・4コマ

作品撮影を通し、自分の作品のプロデュースをする

※ カメラマン・・・尾島 敦 氏

評価方法・対象・比重

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 朴澤 明子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	2
科目コード 96610	科目名 インターンシップⅠ（自由選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：朴澤 明子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。
各自希望するインターンは探してることが条件。アポを取り、審査を受けて希望するデザイナーブランド企業、デザイン事務所、アパレルメーカー、テキスタイル企業、出版等関連企業も対象として実務体験をする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・ 期間(基本は2週間分)、時期は研修目的、受け入れ先の状況により決める。
- ・ 受け入れ先は、基本的に学生本人が希望の会社を選び、連絡を入れる。
報告を受けた後、インターンシップ書類を制作。
- ・ 研修中は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先での研修内容、進捗状況などを報告しアドバイスを行う。

評価方法・対象・比重
スケジュール管理出欠及びレポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 朴澤 明子

科コード 12053	科 名 高度専門士科 3年	単 位	2
科目コード 90130	科目名 ファッション英会話 III	授業期間	通年

担当教員(代表): 薩田 須美子	共同担当者:
------------------	--------

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

ファッション英会話ⅠおよびⅡを履修した学生を対象としたコース。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通し日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体験できることを目指す。

1	ウォーミングアップ
2	ショッピング
3	ショッピング
4	形容詞の比較形
5	比較形を使ったショッピングでの表現
6	作り方の指示を与える
7	
8	まとめ
9	誘う・約束をする。
10	許可を得る。
11	前期のまとめ
12	過去形の確認
13	感情を表す形容詞
14	会話練習

15	完了形
16	まとめ
17	好き嫌いの表現のバリエーション
18	ハロウィーン
19	娯楽
20	映画
21	感謝祭
22	旅行
23	クリスマス
24	ホテルにて
25	レストランにて
26	総復習とまとめ

評価方法・対象・比重: 出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等: English Firsthand Person Longman

記載者署名欄 薩田 須美子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科3年	単 位	2 単位
科目コード 90730	科目名 フランス語Ⅲ	授業期間	

担当教員(代表) 平野佐和	共同担当者:
---------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

これまでに学んだフランス語の基礎を復習しながら、基本文法の理解に基づく平易な文章読解および日常会話に必要なスキルの向上を目指す。講義では視聴覚教材を活用しながら、現代のフランスにおける生活文化(ファッション・香り等含む)を題材として取り上げ、文化に多様性に意識を向けながら、母国語とは異なる言語の仕組みや発音の特徴を興味を持って意識できる機会を多く設ける。目標レベルは、実用フランス語技能検定試験4級。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	自己紹介／習得レベルチェック	16	比較級・最上級
2	挨拶・時間・天候の表現	17	目的語人称代名詞
3	非人称構文の表現	18	代名動詞と命令形
4	依頼・可能・義務の表現	19	複合過去形・過去分詞の性数一致
5	形容詞と副詞の比較級	20	単純未来形
6	位置の表現	21	半過去形・現在分詞
7	目的語人称代名詞と代名詞	22	検定4級レベルチェック
8	複合過去形と指示代名詞	23	総復習1／クリスマスの挨拶
9	検定5級レベルチェック	24	総復習2
10	国籍・職業・名詞の性数・冠詞	25	学年末テスト
11	動詞avoir・規則動詞・形容詞	26	テスト解説・総括
12	買い物の表現・中性代名詞en	27	
13	移動の表現	28	
14	時間(時刻)の表現	29	
15	近接未来・近接過去・中性代名詞y	30	

評価方法・対象・比重

出席状況20% + 夏期課題30% + 学年末テスト50%

主要教材図書 『なびふらんせ』／長崎出版株式会社(講義1～8回目まで・前年度からのテキスト)
『きみと話したい! フランス語』／朝日出版社(9回目以降)

参考図書

その他資料

記載者氏名 平野佐和

2015 年度 カリキュラム科目概要

科コード 12053	科名 ファッション高度専門士科 3 年	単 位	2
科目コード 56210	科目 グラフィックワーク I	授業期間	通年

担当教員(代表)：西村元良	共同担当者：B117staff
---------------	-----------------

教育目標・レベル設定など

ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身につけると同時に、各自のデザイン能力の向上を目指す。

- CG を使用したデザイン画の基本制作と CG 活用術
- ドロー系ソフト/Illustrator の基本操作と
- ペイント系ソフト/Photoshop での基本操作

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

テーマ：基本操作と表現力の技能習得

Illustrator と Photoshop の基本操作の説明と活用方法

方法：PC の基本操作… 1 コマ

- PC の起動と終了・マウスの使い方(クリック・ダブルクリック・ドラッグ)文字入力、その他
- アプリケーションソフトの起動と終了
- ファイルの保存、ファイルとフォルダの管理

カラージュ画像の制作… 5 コマ

- 画像の合成、加工・様々なテクチャーの制作・デザイン画の張り込み

ファッションデザイン画の取り込みと画像の修正、着色… 6 コマ

- デザイン画のスキャニング、保存
- Photoshop の基本操作(選択範囲の作成、レイヤー操作、ペイントの設定、他)
- デザイン画の修正と着色、影付け、色替え

Illustrator の基礎… 7 コマ

- Illustrator の基本操作(パスの操作、塗りと線、フォントの使用、レイヤー操作)
- パスの操作応用・アイテムごとのトレース練習

衣服製品図の制作… 7 コマ

- デザイン画の細部表現(アイテム別に柄を当て込む)
- 製品図(ハンガーイラスト/T シャツ・ジャケット・ブルゾン)の制作
- 効率的な製品図の描き方

製作物：着色デザイン画 2・カラージュ画像・製品図

コマ数：27 コマ (Test 含む)

他科目との関連性：デザイン展開・レイアウトの効率化・データの共有化

使用ソフト名：Adobe 社 Illustrator/Photoshop

評価方法・対象・比重

試験(4)、課題製作物(4)、出欠日数(2)の比重で行う

主要教材図書

グラフィック マスター ブック

参考図書

特にありません

その他資料

筆記用具、USB2.0 フラッシュメモリ 2.0 G 以上(推奨)、ファイルホルダー A 4 サイズ

記載者署名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12053	科 名 ファッション高度専門士科 3年	単 位	1
科目コード 98158	科目名 特別講義・キャリア開発Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 朴澤 明子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

3年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、平面作図からだけのデザインではなく立体からもとらえられる様、自己の可能性を発見し創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品製作まで個性を生かした表現、テクニックの育成をする。各専門分野の方々との出会いを多くし物事に対する洞察力を養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1、テキスタイル情報・・・・・・・・川上 淑子 氏 (2)

素材及びトレンド解説

2、トレンド情報・・・・・・・・未定 (2)

コレクションから読みとるトレンド情報

3、デザイナーの仕事Ⅰ・・・・・・・・宮前 義之 氏 (1)

クリエイターとしての商品開発

4、デザイナーの仕事・・・・・・・・黄 寅 氏 (1)

デザイナーとしての世界観とビジネス展開

5、ビジネスコミュニケーション・・・・・・・・東條 文千代 氏 (2)

グループディスカッション・コミュニケーション能力

6、ビジネスコミュニケーション・就職対策・・・・・・・・池田 衛 氏 (1)

企業研究／履歴書／面接について／エントリーシート

7、ビジネスコミュニケーション・・・・・・・・二上 武生 氏 (2)

グループディスカッション／コミュニケーション能力

8、ユニフォームの基礎知識・・・・・・・・佐古 かがり 氏 (1)

様々なワーキングウエアとその用途

9、毛皮について・・・・・・・・神長 学 氏 (2)

作品制作における知識とテクニック

評価方法・対象・比重

出欠による評価

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

各講師による資料

記載者書名欄 朴澤 明子

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科4年	単 位	12
科目コード	01531	科目名	アパレル造形 III	授業期間	前期・後期

担当教員(代表): 蔵野 亜矢子	共同担当者:
------------------	--------

教育目標・レベル設定

4年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究するとともに広い意味で自己の可能性を発見し、創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品制作のプロセスの中で個々の目的に応じて個性を生かした表現・テクニックの育成をする。

授業概要

アパレル造形 論	01531・01532 (ⅢA・ⅢB)	前期	1単位	後期	1単位
アパレル造形 演習 デザイン	01671・01672 (ⅢA・ⅢB)	前期	2単位	後期	2単位
アパレル造形 演習 実技	01871・01872 (ⅢA・ⅢB)	前期	2単位	後期	2単位
アパレル造形 ドレーピング	01771・01772 (ⅢA・ⅢB)	前期	1単位	後期	1単位

1、 プライベートコレクションPart I・II 164コマ (前期・後期)
・8～10体製作・・・デザイン・パターン・実物制作・発表 (ショーまたは展示)

2、 ドレーピング 59コマ (前期・後期)
・パンツ 15コマ (前期) キプリス9AR レギュラーパンツボディ
・ジャケット 18コマ (前期) キプリス9AR、文化ヌードボディ
(キモノスリーブ)
・コート 12コマ (後期) 文化ヌードボディ
・ニューフォーマル 14コマ (後期) 文化ヌードボディ

3、 コンテスト作品

評価方法・対象・比重

- ・アパレル造形論・・・提出物、制作作品、筆記試験、プレゼンテーション
- ・デザイン・・・提出物、制作作品、筆記試験
- ・実技・・・提出物、制作作品、筆記試験
- ・ドレーピング・・・提出物、制作作品、筆記試験、プレゼンテーション

主要教材図書

文化ファッション体系、服飾造形講座2「スカート・パンツ」アパレル生産講座「立体的裁断基礎・応用編」
服飾造形講座5「コート」

参考図書 ファッション情報誌、WWD、コレクションビデオ、織研新聞 他

その他資料 各種実物標本、各種参考パターンメイキングテキスト、トレンドマップ資料 他

記載者書名欄 蔵野 亜矢子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門度科4年	単 位	2単位
科目コード	20120	科目名	アパレル染色演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表) 眞田玲子	共同担当者 :
---------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。

理論・技法・工程など実技を通し習得する。時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明	16	卒制コンテスト等の 素材作りデザインワーク
2	テキスタイル商品 参考作品の紹介	17	〃
3	布地の造形要素の理解オパール加工実験アルミ溶解編	18	オリジナルテキスタイル企画制作
4	〃	19	〃
5	オパール加工実験セルロース 溶解編	20	〃
6	〃	21	習得した技法を駆使し目的に沿った生地を制作
7	シルクスクリーン(製版) 印捺にて箔加工	22	〃
8	〃	23	〃
9	シルクスクリーン(製版) 印捺にて 特殊プリント	24	作業工程を見直し 必要量の生地を制作
10	〃	25	〃
11	シルクスクリーン(製版) 印捺にてフロッキー加工	26	〃
12	〃	27	まとめ
13	塩宿抜染な地の凹凸や表情の違い表面効果を学ぶ	28	制作した生地の 発表 プレゼンテーション
14	〃	29	
15	サンプル制作や アパレル用素材の準備	30	

評価方法・対象・比重

課題提出物の期限 完成度 及び授業姿勢

主要教材図書

参考図書

その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

記載者氏名 眞田玲子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科4年	単 位	2単位
科目コード	20700	科目名	テキスタイル企画演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：飯塚 有葉	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

デジタルプリント機器を利用した布地制作・サンプル織り制作を通してテキスタイルの知識・理解を深め、アパレルに利用されるテキスタイルを企画するという視点から、主にプリント・織りの企画をたて、プレゼンテーションする技術・能力を身につける。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- デジタルプリントの概要：講義 1コマ
 - ①デジタルプリントの概要
 - ②様々なプリント手法とその特徴
- プリント企画：講義 1コマ
 - ①プリント企画について
 - ②ターゲットの設定・テーマ・コンセプトの確立・カラーイメージについて
- デジタルプリントによるオリジナルテキスタイルの作成企画マップの作成：講義・実習 9コマ
 - ①Photoshopを使った送りつけの方法
 - ②画像合成の方法
 - ③転写プリント・ダイレクトプリントによるサンプル作成
 - ④写真・デザイン画へのマッピング方法
- プリント生地仕上げ：実習 2コマ
- 織の制作工程と工場見学：講義・見学 3コマ
- ハーフステップ柄の作成方法：講義・実習 4コマ
 - ①ハーフステップ柄の特徴
 - ②ハーフステップ柄の作成
- 企画プレゼンテーションの作成：講義・実習 7コマ
 - ①Power Pointの基本的な使い方
 - ②企画プレゼンテーションの作成
 - ③発表・講評

評価方法・対象・比重
授業内課題作品・出席状況

主要教材図書 プリント

参考図書

その他資料用ソフト Adobe PhotoshopCS5/Adobe IllustratorCS5/Power Point

記載者書名欄 飯塚 有葉

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科 4 年	単 位	1 単位
科目コード	56700	科目名	コンピュータワーク（生産管理）	授業期間	前期

担当教員（代表）：宮澤 国博	共同担当者：
----------------	--------

概要

応用的なアパレル CAD の使用方法と、アパレル CAD を中心とした様々なソフトウェアを関連づけて活用できることを目標とする。同じ資料を様々な方法で作成することにより、ソフトウェアのメリット、デメリットを認識する。

3次元仮想ボディデータ作成や、仮想着装シミュレーションなど最先端の CAD オペレーションを体験する。

使用ソフト：東レ ACS 株式会社製クレアコンポシリーズ（パターンマジック、マーカマジック、サイフォームマジック）、
マイクロソフト（エクセル）、adobe（Illustrator）

I. CAD に関連付けたコンピュータとの付き合い方（1 コマ）

- ① CAD の活用方法
- ② ファイルの関連性
- ③ CAD の活用方法

II. CAD の復習

- ① CAD の基本操作の確認
- ② CAD パターンメイキングの一連の流れ

III. CAD による製品図作成（1 コマ）

- ① レイヤ設定について
- ② 製品図作成

IV. CAD を使用した縫製仕様書作成（1 コマ）

- ① 生地スワッチのスキナ入力
- ② 縫製仕様書作成

V. エクセルによる縫製仕様書フォーマット作成（1 コマ）

- ① エクセルの使用方法
- ② 基本枠の作成
- ③ 入力規則の使用方法

VI. サイフォームマジックによる縫製仕様書作成（1 コマ）

- ① パターンマジックによる作成データの準備
- ② サイフォームマジックによる縫製仕様書作成

VII. CAD による工程分析表作成（1 コマ）

- ① グリッド機能、スタンプ機能の説明
- ② コート工程分析表作成

VIII. 3次元仮想着装（2 コマ）

- ① 仮想ボディの作成
- ② 仮想着装シミュレーション

IX. 個人課題作成（4 コマ）

- ① 各自のデザインに合わせ帳票類や 3D データを作成する

X. まとめ（1 コマ）

- ① 今後のCADにおける環境について

評価方法：提出物（マイコレクションの中から１デザインを選び、工業用パターン、縫製仕様書、加工裁断芯貼指図書）
評価比重：提出物7割 平常点3割

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 宮澤 国博

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	1
科目コード 42800	科目名 生産管理各論 製品企画（選択科目）	授業期間	前期

担当教員（代表）： 三浦 豊	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

教育目標 アパレルメーカーの・設計・生産部門業務となる製品企画プロセスを考察し、技術系専門職の責務とその専門力を修得させる

レベル設定 工業製品の産出過程を専門的に捉えず、一般論として学生が受け入れられ理解出来る講義内容を設定

コマ	内 容	コマ	内 容
1	・アパレルメーカーの3機能・商品企画部・生産部・営業販売部	16	
	以下 アパレル製品企画（文化服装学院編 アパレル生産講座）	17	
2	1章 市場とMD像 MDに関係する生産技術系職種と業務	18	
3	2章 商品企画実務・前年同期分析・顧客ターゲット・営業サイクル	19	
4	2章 商品企画実務・マーケティング・4p活動	20	
5	2章 商品企画実務・企画実務過程・コンセプト・試作検討	21	
6	2章 商品企画実務・商品構成と生産数量・素材情報・原価計算	22	
7	2章 商品企画実務・材料計画・生地データ・仕入れ・展示会	23	
8	2章 商品企画実務・販売計画・販売会議・販売予算・生産計画	24	
9	3章 品質設定・総合品質・企画品質・設計品質・製造品質・顧客品質	25	
10	4章 製品の調達方法・調達概要・自社・下請け・委託・製品仕入れ	26	
11	5章 公的ルール・家庭用品品質表示法・組成・原産国表示法	27	
12	5章 公的ルール・知的所有権・日本工業規格・製造物責任法・ISO	28	
		29	
		30	

評価方法・対象・比重

1 試験 ホームワークレポート 課題1SPA 課題2オーガニックコットン 2 授業姿勢 3 出席時間数 4 他

主要教材図書 アパレル製品企画（文化服装学院編）

参考図書 ・商品学読本 水野良象著（東洋経済新聞社） ・生産マネジメントI 藤本隆弘著（日本経済新聞社）

記載者氏名 三浦 豊

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科4年	単 位	2
科目コード	44100	科目名	ニットデザインシステム演習（選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：八木原 弘美	共同担当者：岩佐 光輝
-----------------	-------------

教育目標・レベル設定など

工業横編ニットの生産システムの理解、およびコンピュータ制御横編機、デザインシステムの使用方法を習得し、ニット作品の製作を通じて、アパレル業界におけるニット製品のデザイン手法や布帛とのバリエーションの組み方を考えられる人材を育てる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・コンピュータ制御横編機概論（前期）

手編みと工業機、丸編と横編の違いと特徴、編機仕様、編針、ゲージ、編地、素材等の説明

・デザインシステム実習Ⅰ（前期）

使用機種：SDS-ONE、APEX3（島精機製作所）
コンピュータグラフィックス概論、コンピュータニットデザインの流れ
編地分解と編組織の理解
コンピュータ横編機の制御プログラミング

・編機の操作方法

使用機種：SES102FF7G、SSG122SC12G、NewSES-S・WG183
SWG-FIRST124・153

・デザインシステム実習Ⅱ（前期）

意匠図ー編目図ー編成図ーデザインシステム色番号ープログラミングー編立の流れの理解
ジャカード、ケーブル、レース、タック、リンクス等基本編組織の編立実習、成型柄プログラミング

・ホールガーメント編立実習（後期前半）

使用機種：SDS-ONE、APEX3、SWG-FIRST153、NewSES-S・WG183
ホールガーメントの制御プログラミング、編立方法の実習、ループシミュレーション実習

・マイコレクションニット作品製作（後期）

評価方法・対象・比重

制作物、レポート提出＝7割 授業態度、出席3割

主要教材図書

工業ニット

参考図書

その他資料

「SDS自動制御システム取扱説明書」（株）島精機製作所編

記載者書名欄 八木原 弘美

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード 56540	科目名 コンピューターグラフィックⅣ(選択)	授業期間	(26)

担当教員(代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 : 松尾
------------------	------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

3 年時までに習得したイラストレーターによる表現技術を用いて、市場性を踏まえた現実的な企画立案と
ビジュアル・プレゼンテーションを前提とした企画書作成を学ぶ。就職活動の為にプレゼンテーション資料として
使える様な、プロフェッショナルとしての企画書を制作する。イラストレーターデータ(ai)から PDF に変換した
企画書を制作者が全員にプレゼンテーションする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	授業内容の説明(選択の為)	16	「コート」をテーマに企画書作成
2	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	17	「コート」をテーマに企画書作成
3	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	18	「コート」をテーマに企画書作成
4	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	19	「コート」をテーマに企画書作成
5	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	20	「コート」をテーマに企画書作成
6	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	21	「コート」をテーマに企画書作成
7	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	22	「コート」をテーマに企画書作成
8	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	23	「コート」をテーマに企画書作成
9	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	24	「コート」をテーマに企画書作成
10	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	25	各自の企画をプレゼンテーション
11	「雨の日に使うもの」をテーマにした商品の企画書作成	26	各自の企画をプレゼンテーション
12	各自の企画をプレゼンテーション	27	
13	各自の企画をプレゼンテーション	28	
14	「コート」をテーマに企画書作成	29	
15	「コート」をテーマに企画書作成	30	

評価方法・対象・比重

企画書<スキル・デザイン・表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード 56200	科目名 コンピューターグラフィックⅣ(選択)	授業期間	(26)

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者： 松尾
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

3 年時までに習得したイラストレーターによる表現技術を用いて、市場性を踏まえた現実的な企画立案と
ビジュアル・プレゼンテーションを前提とした企画書作成を学ぶ。就職活動の為にプレゼンテーション資料として
使える様な、プロフェッショナルとしての企画書を制作する。イラストレーターデータ (ai) から PDF に変換した
企画書を制作者が全員にプレゼンテーションする。

授業概要＝テーマ（大・中・小）、方法（講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など）、制作物、

テーマ：（大）プレゼンを前提としたプロフェッショナルとしての企画書作成を学ぶ
（中）イラストレーターによるイラスト・文章レイアウトなどのスキル・アップ
（小）イラスト・写真・文字等によるの全体構成を学ぶ

授業内容：イラストの作成

テーマ・キャプション、文章、プロットの作成
企画構成及びプレゼンテーションの手法
企画マップ・レジュメ製作

授業方法：生徒の企画内容に合わせて表現と手法をアドバイス

生徒に実習させ、個々の作業をサポートする
企画書のサンプルを見せる

制作物：企画書・プレゼンボード

使用パソコン及びソフト：imac アドビ イラストレーターCS5 ・アドビ フォトショップCS5

評価方法・対象・比重

課題制作物＜スキル及びデザイン・イメージの表現力＞・出席率

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 企画書のサンプル

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード 56200	科目名 グラフィックワーク (選択)	授業期間	(26)

担当教員 (代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 : 松尾
-------------------	------------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成等を習得。また、デザイン画を C.G で美しくわかり易く描く事を学び、写真やイラスト文書と合わせた、ビジュアル・プレゼンテーション (企画書) の製作を習得する。

バッグやベルト等の小物アイテムを描く事も学び、レベルの高い企画の作成を目指す。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	授業内容の説明 (選択の為)	16	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	スタイル画を描く=デザインバリエーション描く
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	19	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
5	シャツを描く=フリル・ペプラムの表現	20	イラストレーターでの編集と文字の扱い
6	描いたイラストからの展開	21	デザイン企画書の制作
7	ジャケット&ボトムを描く (フロント&バックスタイル)	22	デザイン企画書の制作
8	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	23	デザイン企画書の制作
9	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	24	デザイン企画書の制作
10	オリジナルデザインでハンガーイラストを作成	25	デザイン企画書の制作
11	オリジナルデザインでハンガーイラストを作成	26	デザイン企画書の制作
12	ディテールパーツの作成	27	
13	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	28	
14	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	29	
15	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く	30	

評価方法・対象・比重
課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード 56200	科目名 グラフィックワーク (選択)	授業期間	(26)

担当教員 (代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 : 松尾
-------------------	------------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成等習得。また、デザイン画を C.G で美しくわかり易く描く事を学び、写真やイラスト文書と合わせた、ビジュアル・プレゼンテーション (企画書) の製作を習得する。

バッグやベルト等の小物アイテムを描く事も学び、レベルの高い企画の作成を目指す。

授業概要＝テーマ (大・中・小)、方法 (講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など)、制作物、

テーマ : (大) コンピューターを利用して表現する、ビジュアルなプレゼンテーション技術の修得
(中) ハンガーイラストとデザイン画の作成とデザイン・色の展開
(小) 先初め柄、プリント柄の作成及びその展開

授業内容 : イラストレーターによるハンガーイラスト
イラストレーターによる先染め柄、プリント柄く送りのある>の作成
イラストレーターによる小物イラストの及びロゴデザイン等の作成
イラストレーターによるデザイン画の作成と展開
写真のスキニングとイラストレーターへの配置
写真、イラスト、カラーイメージ、文字などをイラストレーター上に編集した企画書表現

授業方法 : 生徒の前で実演する
生徒に実習させ、個々の作業をサポートする
学習用のデータを配布

制作物 : ハンガーイラストによるデザインバリエーション作成と企画ファイルの制作

使用パソコン及びソフト : imac アドビ イラストレーターCS5 ・アドビ フォトショップCS5

評価方法・対象・比重
課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科4年	単 位	2
科目コード	55100	科目名	カメラワーク	授業期間	前期

担当教員(代表): 岩切卓士

共同担当者:

教育目標・レベル設定など

写真撮影の基礎を学び、自作のファッション作品を写真を通して表現する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. カメラの仕組み、構造を学習する。
2. デジタル写真の基礎を学習する。
3. デジタルコンパクトカメラ、スマートフォンの使い方を学習する。
4. デジタル一眼レフカメラの使い方を学習する。
5. 画像ソフト Adobe Photoshop を使用して写真の処理を学習する。
6. 構図を学習する。
7. 光の捉え方を学習する。
8. スタジオ撮影を体験する。
9. 人物撮影を学習する。
10. 静物写真を学習する。
11. 野外撮影を体験する。
12. 自作のファッション作品を撮影する。

評価方法・対象・比重

出欠 制作物

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科4年	単 位	1
科目コード	31002	科目名	アクセサリー B (選択)	授業期間	後期

担当教員(代表)：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせる為の小道具である。新しい素材を取り込み、目作のコスチュームを意識してバランス、コーディネート考えたオリジナリティのあるアートアクセサリーの制作</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>1. アートアクセサリー鑑賞とレクチャー</p> <p>参考作品の素材説明とアイディア提案 中川作品鑑賞</p> <p>2. アートアクセサリー制作実習</p> <p>樹脂の特徴と扱い方説明</p> <p>3. アートアクセサリー制作実習</p> <p>アメリカンフラワーの扱い方説明</p> <p>4. アートアクセサリーの制作実習</p> <p>サビカラーの扱い方説明</p> <p>5. アートアクセサリー制作実習</p> <p>↓</p> <p>15. 各自、提出の際コンセプト、テーマ、表記して提出</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 英字</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科 名	ファッション高度専門士科 4 年	単 位	2
科目コード	33010	科目名	バッグ（選択）	授業期間	後期

担当教員（代表）：鈴木 英明	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

○バッグの制作を通して、素材としての様々な革の種類や特性を学び、企業活動における商品企画、材料手配、制作実行などに携わる際の適応性や応用力を高める。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、制作物、
テーマ別所要コマ数 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○講義方法 実習と講義

○制作物 バッグなど

○課題提出 デザイン 1 点、試作品 1 点、作品 1 点

○テーマ別所要コマ数

- ・ 革の歴史・種類・特質、バッグのなどについての概略 <2 コマ>
- ・ 工具とミシンの使用方法、バッグのパターンと制作方法 <2 コマ>
- ・ バッグの型紙作り、試作品作り（接着方法、手縫い作業の習得） <2 コマ>
- ・ バッグの制作 <10 コマ>

評価方法・対象・比重

制作物の提出、完成度、授業態度、出欠

主要教材図書 なし

参考図書

「手縫いで、革小物」鈴木英明著 文化出版局

その他資料

プリント 企業カタログ

記載者書名欄

鈴木英明

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科 4年	単 位	2
科目コード 90140	科目名 ファッション英会話 IV	授業期間	通年

担当教員(代表)：薩田 須美子	共同担当者：
-----------------	--------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

ファッション英会話 I, II および III を履修した学生を対象としたコース。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。

1	イントロダクション
2	Paul Smith
3	ゴールデンウィークのプラン
4	ゴールデンウィークの報告
5	経験
6	
7	意見を求める
8	
9	電話での会話
10	可能なこと、できること
11	CV
12	面接
13	夏休み
14	Vivien Westwood

15	
16	Marc Jacobs
17	
18	Halloween
19	Shopping
20	
21	柄、色、素材
22	Fashion Show
23	Christmas
24	プレゼンテーション
25	総まとめ
26	

評価方法・対象・比重： 出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等： 担当教員の準備する配布物

記載者署名欄 薩田 須美子

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位	2・2
科目コード 96621・2	科目名 インターンシップⅡa・b（自由選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）： 藏野 亜矢子	共同担当者：
------------------	--------

教育目標・レベル設定

将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。
審査を受けて希望するデザイナーブランド企業・デザイン事務所・アパレルメーカー・テキスタイル企業・出版等関連企業も対象として実務体験をする。

授業概要

インターンシップⅡa ・ Ⅱb

- ・ 期間（基本は2週間）、時期は研修目的、受け入れ先の状況により決める。
- ・ 研修中は指導教員と定期的にミーティングを行い、受け入れ先での研修内容、進捗状況などを報告しアドバイスを受ける。

評価方法・対象・比重

出欠及びレポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 藏野 亜矢子

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位	1
科目コード 98140	科目名 特別講義 IV	授業期間	通年

担当教員(代表)： 藏野 亜矢子	共同担当者：
------------------	--------

教育目標・レベル設定など

4年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究するため、各専門分野の方々との出会いを多くし物事に対する洞察力を養う。レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。

授業概要

- コレクション情報・・・・・・・・・・未定 (2)
(パリ・ミラノS/S・A/Wトレンド解説)
- テキスタイル情報・・・・・・・・・・川上 淑子 (2)
(素材及びトレンド解説)
- ファッションビジネスについて・・・・・・・・宮前 義之 (1)
(クリエイターとしての商品開発について)
- 日本の美意識とメンズファッション・・・・・・・・小杉 早苗/櫛下町 伸一 (1)
(クリエイターとしての意識づけ)
- プロデューサーの役割・・・・・・・・・・チダ コウイチ (1)
(ファッションディレクターの仕事)
- アクセサリーの知識・・・・・・・・・・大工原 睦 (2)
(様々な素材からのアプローチ)
- ファッションは現場から・・・・・・・・・・沖 哲也 (1)
(時代に必要なこと)
- メイク表現・・・・・・・・・・夏目 幸恵 (1)
(ショーにおけるトレンドメイク)
- プロデュースの仕方・・・・・・・・・・内藤 純子 (1)
(クリエイターとプレスの現場での関わり)
- ビジュアルマーチャンダイジング・・・・・・・・伊藤 淑恵 (2)
(マイコレクションにおける展示方法について)

評価方法・対象・比重

出欠による評価

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 各講師による資料

記載者書名欄 藏野 亜矢子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位	1
科目コード 96812	科目名 コラボレーションb（自由選択）	授業期間	通年

担当教員（代表）： 藏野 亜矢子	共同担当者：
------------------	--------

教育目標・レベル設定

4年生の学生として既に習得してきたことをさらに追求しより深く研究し、外部講師・企業とのコラボレーション活動により自己の可能性を発見する。また、創造性の領域を広げ個性を生かした表現方法を身につける。

授業概要

企業での実体験や普段触れることの出来ない異文化交流

1、JFW コラボレーション

産地との素材協力を得て作品制作

2、ロレアルコラボレーション

卒業制作ショーにおけるヘアメイクの企業の協力によるコラボレーション

ポートフォリオ制作まで

3、その他

評価方法・対象・比重

出欠、作品制作及びレポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 藏野 亜矢子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12054	科名	ファッション高度専門士科4年	単位	1
科目コード	49020	科目名	ファッション特論Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：藏野 亜矢子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

4年生の学生として既に習得してきたテクニックをさらに追求しより深く研究するため、プロのテクニックを習得する。また、広い意味で自己の可能性を発見し、創造性の領域を広げる。デザイン発想から作品制作のプロセスの中で個々の目的に応じて個性を生かした表現・テクニックの育成をする。

授業概要

1、プロフェッショナルのカット&ソー・・・・・・・・西川 真令(10)

デザインから縫製まで

2、プロフェッショナルのカメラワークテクニック・・・・・・・・尾島 敦(4)

マイコレクションルックブック制作

評価方法・対象・比重

出欠及び作品提出による評価

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料

各講師による資料

記載者書名欄 藏野 亜矢子

科コード 12054	科 名 ファッション高度専門士科4年	単 位	8
科目コード 97900	科目名 卒業研究・創作	授業期間	通年

担当教員(代表)：藏野 亜矢子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定

4年次の学生として既に習得してきたテクニックを更に追及する。そして自己の更なる可能性を発見し、クリエイティブなデザイン発想・オリジナリティを生かした表現でファッションクリエイションを考えてマイコレクションに展開し制作する。集大成とし卒業制作ショー・展示にて各自表現する。

授業概要

- ・コンセプト組み立て→企画→デザイン発想→パターンメイキング作品制作→スタイリング→レポートのまとめにいたるまで、個性を生かした表現と個別の目的に応じたテクニックの育成をする。
- ・既に習得したものをさらに追及し、より深く研究するとともに自己の可能性を発見し、プライベートコレクションとしてクリエイティブなデザイン発想をする。また、個性を生かした表現、ファッション性へのこだわりを考える。コレクションは、作品制作8～10体を基準に他の作品はこれに順ずるものとする。
- ・企画、演出をはじめDM・ポスター・音響・照明・ヘアメイク・モデル・会場等トータルにまとめてショー及び展示として発表する。

1、コンセプト組み立て・企画

2、デザイン発想・デザイン演習（ポートフォリオ）

3、マテリアル・カラー

4、ドレーピング・パターンメイキング

5、実物製作

6、コーディネート演習・企画

7、卒業制作コレクションショー・展示

評価方法・対象・比重

課題作品によるパターンメイキング・テクニック・総合演出評価

主要教材図書 なし

参考図書

ファッション情報誌WWD、コレクションビデオ 他

その他資料

各自テーマに基づいた参考図書

記載者書名欄 藏野 亜矢子